

令和元年度

高浜市決算審査意見書

一般会計・特別会計
基金運用状況
水道事業会計
下水道事業会計

高浜市監査委員

2 高 監 第 4 0 号
令和 2 年 8 月 1 4 日

高 浜 市 長 吉 岡 初 浩 様

高 浜 市 監 査 委 員 伴 野 義 雄

高 浜 市 監 査 委 員 小 嶋 克 文

令 和 元 年 度 高 浜 市 一 般 会 計 ・ 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 及 び 基 金 運 用 状 況 審 査 意 見 に つ い て

地 方 自 治 法 第 2 3 3 条 第 2 項 及 び 第 2 4 1 条 第 5 項 の 規 定
に よ り 審 査 に 付 さ れ た 令 和 元 年 度 高 浜 市 一 般 会 計 ・ 特 別 会 計
歳 入 歳 出 決 算 書 並 び に 証 拠 書 類 、 そ の 他 政 令 で 定 め る 書 類 及
び 基 金 運 用 状 況 に つ い て 審 査 し た の で 、 そ の 結 果 に つ い て 次
の と お り 意 見 を 提 出 し ま す 。

目 次

令和元年度高浜市一般会計及び特別会計決算審査意見

| | | |
|----|-----------------|----|
| 第1 | 審査の対象 | 3 |
| 第2 | 審査の期間 | 3 |
| 第3 | 審査の方法 | 3 |
| 第4 | 審査の結果 | 3 |
| 第5 | 審査の概要 | 4 |
| 1 | 各会計の総括 | 4 |
| 2 | 一般会計 | 6 |
| | (1)歳入 | 7 |
| | (2)歳出 | 22 |
| 3 | 特別会計 | 32 |
| | (1)国民健康保険事業 | 33 |
| | (2)土地取得費 | 35 |
| | (3)公共駐車場事業 | 36 |
| | (4)介護保険 | 37 |
| | (5)後期高齢者医療 | 39 |
| 4 | 財産に関する調書 | 40 |
| む | す | 42 |
| | び | 42 |
| | 令和元年度基金運用状況審査意見 | 45 |
| | 決算審査資料 | 47 |

令和元年度高浜市一般会計 及び特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

| | |
|-------|-----------------------|
| 令和元年度 | 高浜市一般会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算 |
| 令和元年度 | 高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 |

第2 審査の期間

令和2年7月20日から令和2年8月14日まで

第3 審査の方法

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された一般会計・特別会計歳入歳出決算書並びに証拠書類、その他政令で定める書類に基づき、関係諸帳簿と照合し、あわせて関係職員の説明を聴取するとともに、例月出納検査並びに定期監査の結果等も参考として決算計数の正確性、予算執行の適否等について審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令の規定に準拠して作成されており、その計数は正確であり、予算の執行もおおむね適正であると認められた。

各会計における審査の概要は、次のとおりである。

第5 審査の概要

1 各会計の総括

令和元年度の一般会計及び特別会計の予算総額は 24,003,880,000円であり、これに対して決算総額は、次のとおりである。

| | |
|------|-----------------|
| 歳入 | 23,888,340,581円 |
| 歳出 | 22,706,518,288円 |
| 差引残額 | 1,181,822,293円 |

※ 一般会計・特別会計の総計決算総額は、次のとおりである。

(単位 円)

| 区分 | 予算現額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引残額 |
|------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 一般会計 | 17,150,549,000 | 17,083,074,591 | 16,148,727,784 | 934,346,807 |
| 特別会計 | 6,853,331,000 | 6,805,265,990 | 6,557,790,504 | 247,475,486 |
| 合計 | 24,003,880,000 | 23,888,340,581 | 22,706,518,288 | 1,181,822,293 |

総計決算総額について前年度と比較すると、歳入においては前年度 26,259,317,029円に対し、2,370,976,448円(9.0%)減少し、歳出においては前年度 24,880,794,807円に対し、2,174,276,519円(8.7%)減少している。

※ 一般会計・特別会計の純計決算総額は、次のとおりである。

(単位 円)

| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出差引残額 |
|------|----------------|----------------|---------------|
| 一般会計 | 17,083,074,591 | 15,331,468,175 | 1,751,606,416 |
| 特別会計 | 5,988,006,381 | 6,557,790,504 | △569,784,123 |
| 合計 | 23,071,080,972 | 21,889,258,679 | 1,181,822,293 |

上記の決算額は、一般会計・特別会計相互間において、一般会計には特別会計からの繰入金はないが、特別会計には一般会計からの繰入金 817,259,609円が含まれているので、これを控除した純計決算総額として、歳入は 23,071,080,972円、歳出は 21,889,258,679円となり、ゆえに歳入歳出差引残額は 1,181,822,293円となっている。

※ 最近3か年の総計決算総額の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 前年度 対比 | 平成30年度 | 前年度 対比 | 平成29年度 | 前年度 対比 |
|---------|----------------|-----------|----------------|-----------|----------------|-----------|
| 歳入決算額 | 23,888,340,581 | 91.0 | 26,259,317,029 | 111.9 | 23,465,874,686 | 98.9 |
| 歳出決算額 | 22,706,518,288 | 91.3 | 24,880,794,807 | 111.6 | 22,303,186,112 | 99.3 |

※ 普通会計における財政構造の状況は、次のとおりである。

財政力指数は、地方公共団体の財政上の能力を示すもので、この財政力指数が「1」を上回るほど財政力が強いとみることができる。

本年度は 1.06で、前年度より 0.07ポイント上昇した。

※ 最近3か年の財政力指数の推移は、次のとおりである。

(単位 千円)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 基準財政収入額 | 7,600,862 | 6,831,446 | 7,750,568 |
| 基準財政需要額 | 7,163,235 | 6,920,690 | 7,064,205 |
| 財政力指数 | 1.06 | 0.99 | 1.10 |
| 財政力指数(3年平均) | 1.05 | 1.03 | 1.03 |

次に示す経常一般財源比率は、歳入構造を分析する方法で、一般財源の「ゆとり」を示し、この比率が「100」を超えるほど一般財源に余裕があるとされている。

本年度は 97.9%で、前年度に比べ 8.2ポイント減少している。

※ 最近3か年の経常一般財源比率の推移は、次のとおりである。

(単位 千円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経常一般財源収入額 | 9,575,494 | 9,737,886 | 9,066,172 |
| 標準財政規模 | 9,779,510 | 9,179,357 | 9,988,202 |
| 経常一般財源比率 | 97.9 | 106.1 | 90.8 |

次に示す経常収支比率は、財政構造の弾力性を測定する方法で、この比率が高いほど財政構造が硬直化しているとされている。

本年度は 93.3%で、前年度に比べ 7.7ポイント上昇している。

※ 最近3か年の経常収支比率の推移は、次のとおりである。

(単位 千円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-----------------|-----------|------------|-----------|
| 経常一般財源の経常的経費充当額 | 8,935,784 | 8,609,391 | 8,452,559 |
| 経常一般財源総額 | 9,575,494 | 10,051,886 | 9,066,172 |
| 経常収支比率 | 93.3 | 85.6 | 93.2 |

以上の財政分析は、総務省が毎年実施する地方財政状況調査に基づく決算統計上の数値を用いたものである。

2 一般会計

※ 歳入歳出決算額は、次のとおりである。

| | |
|------|-----------------|
| 歳入 | 17,083,074,591円 |
| 歳出 | 16,148,727,784円 |
| 差引残額 | 934,346,807円 |

この決算額を前年度と比較すると、歳入では 770,494,247円(4.3%)減少し、歳出では 864,499,184円(5.1%)減少している。

※ 最近3か年の決算状況の推移は、次のとおりである。

(単位 千円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 前年度 対比 | 平成30年度 | 前年度 対比 | 平成29年度 | 前年度 対比 |
|--------------|----------------|-----------|----------------|-----------|----------------|-----------|
| 予算現額 | 17,150,549,000 | 92.5 | 18,547,307,000 | 128.7 | 14,411,140,000 | 98.1 |
| 歳入決算額 | 17,083,074,591 | 95.7 | 17,853,568,838 | 121.5 | 14,690,527,940 | 97.6 |
| 歳出決算額 | 16,148,727,784 | 94.9 | 17,013,226,968 | 121.0 | 14,061,789,168 | 99.0 |
| 歳入歳出 差引残額 | 934,346,807 | 111.2 | 840,341,870 | 133.7 | 628,738,772 | 74.5 |

※ 最近3か年の財政収支状況の推移は、次のとおりである。

(単位 円)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|-----------|----------------|--------------------------------------|----------------|
| 歳入決算額 | 17,083,074,591 | 17,853,568,838 | 14,690,527,940 |
| 歳出決算額 | 16,148,727,784 | 17,013,226,968 | 14,061,789,168 |
| 形式収支(差引残) | 934,346,807 | 840,341,870 | 628,738,772 |
| 翌年度繰越額 | 185,035,000 | 1,079,034,000 (うち一般財源 80,868,000) | 4,601,000 |
| 実質収支額 | 749,311,807 | 759,473,870 | 624,137,772 |
| 単年度収支額 | △10,162,063 | 135,336,098 | △191,311,653 |

歳入決算額から歳出決算額を差引いた形式収支は 934,346,807円で、これには翌年度へ繰越すべき財源 185,035,000円が含まれるので、これを差し引いた実質収支額は 749,311,807円となる。

また、本年度実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は 10,162,063円の赤字となっている。

(1) 歳入

※ 一般会計の歳入決算状況は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|----------------|----------------|----------------|------------|-------------|------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 17,150,549,000 | 17,329,515,931 | 17,083,074,591 | 49,302,540 | 197,138,800 | 99.6 | 98.6 |
| H30 | 18,547,307,000 | 18,113,195,024 | 17,853,568,838 | 25,040,471 | 234,585,715 | 96.3 | 98.6 |

一般会計歳入決算額は、収入済額 17,083,074,591円で予算現額 17,150,549,000円に対する収入率は 99.6%で、前年度と比較し 770,494,247円(4.3%)の減少となっている。また、調定額に対する収入率は 98.6%で、前年度と同率である。

増加・減少の主なものは、次のとおりである。

増加 地方特例交付金・財産収入・寄附金・繰入金・繰越金

減少 地方交付税・分担金及び負担金・国庫支出金・県支出金・市債

※ 最近3か年の不納欠損額の推移は次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 区分 | 令和元年度 | 前年度 対比 | 平成30年度 | 前年度 対比 | 平成29年度 | 前年度 対比 |
|----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
| 不納欠損額 | 49,302,540 | 196.9 | 25,040,471 | 101.5 | 24,674,452 | 72.7 |

不納欠損額は 49,302,540円で前年度と比較し 24,262,069円(96.9%)の増加となっている。

※ 最近3か年の収入未済額の状況は次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 区分 | 令和元年度 | 前年度 対比 | 平成30年度 | 前年度 対比 | 平成29年度 | 前年度 対比 |
|----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 収入未済額 | 197,138,800 | 84.0 | 234,585,715 | 95.2 | 246,299,758 | 94.7 |

収入未済額は 197,138,800円で前年度と比較し 37,446,915円(16.0%)の減少となっている。

収入未済額の主なものは、市税で 179,764,395円となっている。

次に、歳入決算額を自主財源と依存財源に区別して前年度と比べると、自主財源は381,490,322円(3.5%)上昇し、依存財源は1,151,714,569円(16.6%)減少している。

また、自主財源の歳入決算額に占める割合は66.2%で、前年度より5.0ポイント上昇している。

※ 最近3か年の自主財源と依存財源の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 平成29年度 | |
|----------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | 決算額 | 構成比率 | 決算額 | 構成比率 | 決算額 | 構成比率 |
| 自主財源 | 11,303,871,982 | 66.2 | 10,922,381,660 | 61.2 | 10,377,394,110 | 70.6 |
| 依存財源 | 5,779,202,609 | 33.8 | 6,931,187,178 | 38.8 | 4,313,133,830 | 29.4 |
| 合計 | 17,083,074,591 | 100.0 | 17,853,568,838 | 100.0 | 14,690,527,940 | 100.0 |

(注) 1 自主財源は、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入

2 依存財源は、前記以外の款をもって構成内容としている。

次に示すように、歳入決算額を支出の用途により、一般財源と特定財源に区別して前年度と比べると、一般財源は170,390,887円(1.4%)減少し、特定財源は600,103,360円(10.0%)減少している。

また、一般財源の決算額は歳入総額の68.4%で、これに対して特定財源は31.6%となり、本年度における両財源の構成比は、一般財源が特定財源を36.8ポイント上回っている。

※ 最近3か年の一般財源と特定財源の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 平成29年度 | |
|----------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| | 決算額 | 構成比率 | 決算額 | 構成比率 | 決算額 | 構成比率 |
| 一般財源 | 11,683,306,047 | 68.4 | 11,853,696,934 | 66.4 | 10,930,376,844 | 74.4 |
| 特定財源 | 5,399,768,544 | 31.6 | 5,999,871,904 | 33.6 | 3,760,151,096 | 25.6 |
| 合計 | 17,083,074,591 | 100.0 | 17,853,568,838 | 100.0 | 14,690,527,940 | 100.0 |

款別決算状況

1 款 市 税

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------------|---------------|---------------|------------|-------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 8,836,360,000 | 9,334,815,432 | 9,106,825,692 | 48,225,345 | 179,764,395 | 103.1 | 97.6 |
| H30 | 8,814,433,000 | 9,447,145,735 | 9,206,921,822 | 24,616,071 | 215,607,842 | 104.5 | 97.5 |

本年度の市税収入済額は 9,106,825,692円 で、前年度 9,206,921,822円 と比較し、100,096,130円 (1.1%) 減少している。

前年度と比較して、市民税 262,850,715円 (6.5%) が減少している。

一方で、固定資産税 129,292,922円 (3.3%)、軽自動車税 7,674,310円 (7.0%)、市たばこ税 12,731,390円 (3.8%)、都市計画税 13,055,963円 (1.7%) においては増加している。

市税は、歳入総額 17,083,074,591円の 53.3% を占め、前年度 51.6% と比較し 1.7ポイント上昇している。

※ 税目別収入状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 税目 | 年度 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 収入済額 前年度比較 | |
|-------|----|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| | | 調定額 | 収入率 | 調定額 | 収入率 | 増減額 | 比率 |
| | | 収入済額 | | 収入済額 | | | |
| 市民税 | | 3,947,301,111 | 95.5 | 4,213,124,330 | 95.8 | △262,850,715 | 93.5 |
| | | 3,771,449,281 | | 4,034,299,996 | | | |
| 内訳 | 個人 | 3,403,666,195 | 94.9 | 3,306,584,614 | 94.7 | 99,927,885 | 103.2 |
| | | 3,230,811,481 | | 3,130,883,596 | | | |
| | 法人 | 543,634,916 | 99.4 | 906,539,716 | 99.7 | △362,778,600 | 59.8 |
| | | 540,637,800 | | 903,416,400 | | | |
| 固定資産税 | | 4,120,204,051 | 99.1 | 3,998,796,869 | 98.9 | 129,292,922 | 103.3 |
| | | 4,084,524,375 | | 3,955,231,453 | | | |
| 軽自動車税 | | 127,421,583 | 91.6 | 118,782,783 | 91.8 | 7,674,310 | 107.0 |
| | | 116,702,510 | | 109,028,200 | | | |
| 市たばこ税 | | 345,835,277 | 100.0 | 333,103,887 | 100.0 | 12,731,390 | 103.8 |
| | | 345,835,277 | | 333,103,887 | | | |
| 都市計画税 | | 794,053,410 | 99.3 | 783,337,866 | 99.0 | 13,055,963 | 101.7 |
| | | 788,314,249 | | 775,258,286 | | | |
| 合計 | | 9,334,815,432 | 97.6 | 9,447,145,735 | 97.5 | △100,096,130 | 98.9 |
| | | 9,106,825,692 | | 9,206,921,822 | | | |

※ 最近3か年の現年課税分と滞納繰越分の収入状況の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | | 年度 | | |
|-------|------|---------------|---------------|---------------|
| | | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
| 現年課税分 | 調定額 | 9,118,053,377 | 9,214,510,187 | 8,642,992,589 |
| | 収入済額 | 9,025,270,487 | 9,118,667,095 | 8,542,517,197 |
| | 収入率 | 99.0 | 99.0 | 98.8 |
| 滞納繰越分 | 調定額 | 216,762,055 | 232,635,548 | 242,296,598 |
| | 収入済額 | 81,555,205 | 88,254,727 | 89,065,364 |
| | 収入率 | 37.6 | 37.9 | 36.8 |
| 合計 | 調定額 | 9,334,815,432 | 9,447,145,735 | 8,885,289,187 |
| | 収入済額 | 9,106,825,692 | 9,206,921,822 | 8,631,582,561 |
| | 収入率 | 97.6 | 97.5 | 97.1 |

調定に対する収入率は、現年課税分は 99.0%で前年度と同率である。滞納繰越分は 37.6%で前年度と比較し 0.3ポイント下降している。

全体では、97.6%で前年度と比較し 0.1ポイント上昇している。

※ 不納欠損額を税目別に前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 税目 | 年度 | | | |
|-------|------------|------------|--------------|-------|
| | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
| 市民税 | 39,317,545 | 19,609,836 | 19,707,709 | 200.5 |
| 固定資産税 | 6,627,413 | 3,524,765 | 3,102,648 | 188.0 |
| 軽自動車税 | 988,800 | 779,900 | 208,900 | 126.8 |
| 都市計画税 | 1,291,587 | 701,570 | 590,017 | 184.1 |
| 合計 | 48,225,345 | 24,616,071 | 23,609,274 | 195.9 |

不納欠損額は 48,225,345円で、前年度の 24,616,071円と比較し 23,609,274円 (95.9%)増加している。

不納欠損額の主なものは、市民税 39,317,545円、固定資産税 6,627,413円である。

不納欠損額は前年度より増加しており、地方税法の規定に基づき適正に処理されるよう強く要望する。

※ 収入未済額を税目別に前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 税目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|----------|-------------|-------------|--------------|-------|
| 市民税 | 136,534,285 | 159,214,498 | △22,680,213 | 85.8 |
| 固定資産税 | 29,052,263 | 40,040,651 | △10,988,388 | 72.6 |
| 軽自動車税 | 9,730,273 | 8,974,683 | 755,590 | 108.4 |
| 都市計画税 | 4,447,574 | 7,378,010 | △2,930,436 | 60.3 |
| 合計 | 179,764,395 | 215,607,842 | △35,843,447 | 83.4 |

収入未済額は、全体で 179,764,395円となり、前年度の 215,607,842円と比較し 35,843,447円(16.6%)減少している。

市税は歳入の主体となるものであり、税負担の公平の見地からも引き続き収入未済額の減少に努力されるよう要望する。

※ 市税の負担状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 %)

| 年度 税目 | 単位 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|------------|----|---------------|---------------|--------------|-------|
| 市税収入済額 | 円 | 9,106,825,692 | 9,206,921,822 | △100,096,130 | 98.9 |
| 人口 | 人 | 49,298 | 48,863 | 435 | 100.9 |
| 世帯数 | 世帯 | 20,735 | 20,279 | 456 | 102.2 |
| 1人当たりの負担額 | 円 | 184,730 | 188,423 | △3,693 | 98.0 |
| 1世帯当たりの負担額 | 円 | 439,201 | 454,013 | △14,812 | 96.7 |

本年度の市民1人当たりの年間平均負担額は 184,730円で、前年度と比較し 3,693円(2.0%)減少している。

また、1世帯当たりでは 439,201円で、前年度と比較し 14,812円(3.3%)減少している。

2 款 地方譲与税

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 107,500,000 | 107,859,478 | 107,859,478 | 0 | 100.3 | 100.0 |
| H30 | 104,500,000 | 106,785,883 | 106,785,883 | 0 | 102.2 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 106,785,883円と比較し、1,073,595円(1.0%)増加している。
これは、主に令和元年度より譲与が開始された森林環境譲与税 1,744,000円(皆増)によるものである。

3 款 利子割交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 9,000,000 | 7,146,000 | 7,146,000 | 0 | 79.4 | 100.0 |
| H30 | 11,000,000 | 15,660,000 | 15,660,000 | 0 | 142.4 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 15,660,000円と比較し、8,514,000円(54.4%)減少している。
利子割交付金は、地方税法第71条の26の規定により市町村に交付されるものである。

4 款 配当割交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 45,000,000 | 49,743,000 | 49,743,000 | 0 | 110.5 | 100.0 |
| H30 | 46,000,000 | 44,661,000 | 44,661,000 | 0 | 97.1 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 44,661,000円と比較し、5,082,000円(11.4%)増加している。
配当割交付金は、地方税法第71条の47の規定により市町村に交付されるものである。

5 款 株式等譲渡所得割交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 34,000,000 | 25,744,000 | 25,744,000 | 0 | 75.7 | 100.0 |
| H30 | 40,000,000 | 33,996,000 | 33,996,000 | 0 | 85.0 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 33,996,000円と比較し、8,252,000円(24.3%)減少している。

株式等譲渡所得割交付金は、地方税法第71条の67の規定により市町村に交付されるものである。

6 款 地方消費税交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 842,000,000 | 820,772,000 | 820,772,000 | 0 | 97.5 | 100.0 |
| H30 | 850,000,000 | 865,487,000 | 865,487,000 | 0 | 101.8 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 865,487,000円と比較し、44,715,000円(5.2%)減少している。

地方消費税交付金は、地方税法第72条の115の規定により市町村に交付されるものである。

7 款 自動車取得税交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 31,000,000 | 29,760,518 | 29,760,518 | 0 | 96.0 | 100.0 |
| H30 | 60,000,000 | 57,504,000 | 57,504,000 | 0 | 95.8 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 57,504,000円と比較し、27,743,482円(48.2%)減少している。

これは主に、令和元年度税制改正により、自動車取得税が令和元年10月1日以降廃止されたことによるものである。

8 款 環境性能割交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|-----------|-----------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 12,000,000 | 9,177,000 | 9,177,000 | 0 | 76.5 | 100.0 |
| H30 | — | — | — | — | — | — |

令和元年度税制改正により、自動車取得税に代わり環境性能割が導入されたことにより皆増となっている。

環境性能割交付金は、地方税法第177条の6の規定により市町村に交付されるものである。

9 款 地方特例交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 71,820,000 | 161,732,000 | 161,732,000 | 0 | 225.2 | 100.0 |
| H30 | 59,917,000 | 59,917,000 | 59,917,000 | 0 | 100.0 | 100.0 |

収入済額は、前年度の59,917,000円と比較し、101,815,000円(169.9%)増加している。

地方特例交付金は、住宅借入金等特別税額控除による個人住民税の減収および、消費税率引上げに伴う需要の平準化のための環境性能割の臨時的軽減による減収が生じることに伴い交付されるものである。また、令和元年度は消費税率引上げに伴う地方の増収が僅かであることから、子ども・子育て支援臨時交付金が支給された。

10 款 地方交付税

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 100,000,000 | 83,122,000 | 83,122,000 | 0 | 83.1 | 100.0 |
| H30 | 182,789,000 | 186,271,000 | 186,271,000 | 0 | 101.9 | 100.0 |

収入済額は、前年度の186,271,000円と比較し、103,149,000円(55.4%)減少している。

地方交付税は、地方公共団体の財源調整を図るためのものであり、所得税、酒税、法人税、消費税、地方法人税を原資として交付されるものである。

1 1 款 交通安全対策特別交付金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 7,000,000 | 6,544,000 | 6,544,000 | 0 | 93.5 | 100.0 |
| H30 | 7,000,000 | 6,671,000 | 6,671,000 | 0 | 95.3 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 6,671,000円と比較し、127,000円(1.9%)減少している。

交通安全対策特別交付金は、道路交通安全施設の整備に要する費用に充てるために、交通事故件数、人口集中地区人口および改良済道路延長を基準として交付されるものである。

1 2 款 分担金及び負担金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|---------|---------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 140,035,000 | 142,238,195 | 141,849,040 | 193,895 | 195,260 | 101.3 | 99.7 |
| H30 | 228,625,000 | 217,848,994 | 217,369,239 | 72,000 | 407,755 | 95.1 | 99.8 |

収入済額は、前年度の 217,369,239円と比較し、75,520,199円(34.7%)の減少となっている。

これは主に、児童福祉費負担金 77,223,800円(37.3%)の減少によるものである。

収入未済額は、前年度と比較し、212,495円(52.1%)減少している。

この収入未済額の内容は、児童福祉費負担金 195,260円である。

1 3 款 使用料及び手数料

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|---------|------------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 144,777,000 | 160,457,174 | 149,715,455 | 883,300 | 9,858,419 | 103.4 | 93.3 |
| H30 | 161,751,000 | 169,701,345 | 157,400,926 | 352,400 | 11,948,019 | 97.3 | 92.8 |

収入済額は、前年度の 157,400,926円と比較し、7,685,471円(4.9%)減少している。

これは主に、道路橋りょう使用料 5,080,753円(21.8%)および清掃手数料 9,585,400円(30.0%)の増加に対し、幼稚園使用料 22,978,000円(58.4%)の減少によるものである。

※ 使用料及び手数料の収入状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|---------|-------------|-------------|--------------|-------|
| 使用料 | 90,341,745 | 108,091,096 | △17,749,351 | 83.6 |
| 手数料 | 59,373,710 | 49,309,830 | 10,063,880 | 120.4 |
| 合計 | 149,715,455 | 157,400,926 | △7,685,471 | 95.1 |

前年度と比較して、使用料においては 17,749,351円(16.4%)減少し、手数料においては 10,063,880円(20.4%)の増加となっている。

収入済額の主なものは、使用料で社会福祉使用料 8,321,372円、道路橋りょう使用料 28,342,747円、住宅使用料 29,853,300円および幼稚園使用料 16,362,340円であり、手数料においては戸籍住民基本台帳手数料 13,060,850円および清掃手数料 41,570,000円である。

※ 不納欠損額、収入未済額の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|---------|-----------|------------|--------------|-------|
| 不納欠損額 | 883,300 | 352,400 | 530,900 | 250.7 |
| 収入未済額 | 9,858,419 | 11,948,019 | △2,089,600 | 82.5 |

収入未済額は、前年度と比較し、2,089,600円(17.5%)減少している。

この収入未済額の内容は、住宅使用料 9,851,419円、幼稚園使用料 7,000円である。

1 4 款 国庫支出金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------------|---------------|---------------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 2,381,719,000 | 2,210,881,925 | 2,210,881,925 | 0 | 92.8 | 100.0 |
| H30 | 2,426,139,000 | 2,296,970,575 | 2,296,970,575 | 0 | 94.7 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 2,296,970,575円と比較し、86,088,650円(3.7%)減少している。

※ 国庫支出金は、国庫負担金、国庫補助金および委託金からなっており、その収入状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|---------|---------------|---------------|--------------|-------|
| 国庫負担金 | 1,863,401,907 | 1,636,881,229 | 226,520,678 | 113.8 |
| 国庫補助金 | 337,533,791 | 649,209,732 | △311,675,941 | 52.0 |
| 委託金 | 9,946,227 | 10,879,614 | △933,387 | 91.4 |
| 合計 | 2,210,881,925 | 2,296,970,575 | △86,088,650 | 96.3 |

国庫負担金の増加は、民生費国庫負担金 239,504,678円(14.7%)の増加が主なものである。
国庫補助金の減少は、教育費国庫補助金 392,764,000円(77.7%)の減少が主なものである。

委託金の減少は、民生費委託金 850,387円(8.9%)の減少が主なものである。

収入済額の主なものは、

国庫負担金

| | |
|----------|----------------|
| 社会福祉費負担金 | 427,728,613円 |
| 児童福祉費負担金 | 1,197,406,294円 |
| 生活保護費負担金 | 238,267,000円 |

国庫補助金

| | |
|--------------|--------------|
| 戸籍住民基本台帳費補助金 | 9,900,000円 |
| 社会福祉費補助金 | 41,930,000円 |
| 児童福祉費補助金 | 113,886,000円 |
| 商工費補助金 | 35,081,600円 |
| 小学校費補助金 | 63,759,350円 |
| 中学校費補助金 | 43,173,650円 |

委託金

| | |
|----------|------------|
| 社会福祉費委託金 | 8,413,227円 |
|----------|------------|

などである。

1 5 款 県支出金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------------|---------------|---------------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 1,107,625,000 | 1,070,520,688 | 1,070,520,688 | 0 | 96.7 | 100.0 |
| H30 | 1,247,204,000 | 1,239,863,720 | 1,239,863,720 | 0 | 99.4 | 100.0 |

収入済額は、前年度 1,239,863,720円と比較し、169,343,032円(13.7%)減少している。

※ 県支出金の収入状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 区分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------|
| 県負担金 | 683,277,348 | 604,803,059 | 78,474,289 | 113.0 |
| 県補助金 | 285,578,037 | 530,991,082 | △245,413,045 | 53.8 |
| 委託金 | 99,519,789 | 103,278,811 | △3,759,022 | 96.4 |
| 県交付金 | 2,145,514 | 790,768 | 1,354,746 | 271.3 |
| 合計 | 1,070,520,688 | 1,239,863,720 | △169,343,032 | 86.3 |

県負担金の増加は、民生費県負担金 78,474,289円(13.0%)の増加によるものである。
 県補助金の減少は、民生費県補助金 240,426,993円(52.6%)の減少が主なものである。
 委託金の減少は、総務費委託金 3,719,792円(3.7%)の減少が主なものである。

収入済額の主なものは、

県負担金

社会福祉費負担金 341,728,785円

児童福祉費負担金 337,828,363円

県補助金

社会福祉費補助金 84,754,705円

児童福祉費補助金 132,296,174円

商工費補助金 10,088,000円

道路橋りょう費補助金 31,410,000円

委託金

徴税费委託金 81,118,083円

選挙費委託金 14,430,233円

などである。

1 6 款 財産収入

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 48,782,000 | 50,116,297 | 50,116,297 | 0 | 102.7 | 100.0 |
| H30 | 25,354,000 | 27,674,482 | 27,674,482 | 0 | 109.2 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 27,674,482円と比較し、22,441,815円(81.1%)増加している。これは主に財産売払収入 17,055,928円(609.7%)の増加によるものである。

収入済額の主なものは、不動産貸付収入 26,523,433円、土地売払収入 19,128,950円である。

1 7 款 寄附金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 86,235,000 | 89,297,728 | 89,297,728 | 0 | 103.6 | 100.0 |
| H30 | 69,172,000 | 63,040,163 | 63,040,163 | 0 | 91.1 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 63,040,163円と比較し、26,257,565円(41.7%)増加している。収入済額の主なものは、ふるさと応援寄附金 72,461,000円である。

1 8 款 繰入金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 520,241,000 | 520,232,424 | 520,232,424 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| H30 | 207,127,000 | 206,125,903 | 206,125,903 | 0 | 99.5 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 206,125,903円と比較し、314,106,521円(152.4%)増加している。

収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金 321,838,000円、公共施設等整備繰入金 160,704,000円である。

19款 繰越金

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 840,341,000 | 840,341,870 | 840,341,870 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| H30 | 628,738,000 | 628,738,772 | 628,738,772 | 0 | 100.0 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 628,738,772円と比較し、211,603,098円(33.7%)増加している。

20款 諸収入

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------|-----------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 369,914,000 | 412,814,202 | 405,493,476 | 0 | 7,320,726 | 109.6 | 98.2 |
| H30 | 424,858,000 | 421,732,452 | 415,110,353 | 0 | 6,622,099 | 97.7 | 98.4 |

収入済額は、前年度の 415,110,353円と比較し、9,616,877円(2.3%)減少している。

収入済額の主なものは、

| | |
|--------------------|--------------|
| 延滞金 | 18,473,077円 |
| 中小企業融資貸付金元利収入元金 | 70,000,000円 |
| 愛知県住宅供給公社貸付金元利収入元金 | 12,342,000円 |
| 駐車場収入 | 11,144,000円 |
| 高額療養費収入 | 72,273,539円 |
| 保育園収入 | 13,383,269円 |
| 児童クラブ収入 | 11,419,000円 |
| 保健センター収入 | 45,193,950円 |
| 雑入 | 132,533,734円 |

などである。

※ 諸収入の収入状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 増減額 | 前年度対比 |
|-----------------|-------------|-------------|--------------|-------|
| 延滞金・加算金 及び過料 | 18,473,077 | 18,847,216 | △374,139 | 98.0 |
| 市預金利子 | 68,442 | 390,778 | △322,336 | 17.5 |
| 貸付金 元利収入 | 82,342,000 | 82,342,000 | 0 | 100.0 |
| 雑入 | 304,609,957 | 313,530,359 | △8,920,402 | 97.2 |
| 合計 | 405,493,476 | 415,110,353 | △9,616,877 | 97.7 |

21款 市債

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------------|---------------|---------------|-------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| R元 | 1,415,200,000 | 1,196,200,000 | 1,196,200,000 | 0 | 84.5 | 100.0 |
| H30 | 2,952,700,000 | 2,017,400,000 | 2,017,400,000 | 0 | 68.3 | 100.0 |

収入済額は、前年度の 2,017,400,000円と比較し、821,200,000円(40.7%)減少している。

これは主に、教育債 482,700,000円(30.5%)、臨時財政対策債 314,000,000円(皆減)の減少によるものである。

収入済額は、次のとおりである。

| | |
|---------|--------------|
| 児童福祉債 | 41,600,000円 |
| 道路橋りょう債 | 50,100,000円 |
| 都市計画債 | 3,800,000円 |
| 小学校債 | 608,100,000円 |
| 中学校債 | 475,200,000円 |
| 社会教育債 | 9,000,000円 |
| 幼稚園債 | 8,400,000円 |

※ 市債残高の状況は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 平成30年度末 未償還元金 | 令和元年度 借入金 | 令和元年度償還額 | | 令和元年度末 未償還元金 |
|------------------|---------------|-------------|------------|-----------------|
| | | 元金 | 利子 | |
| 8,545,503,440 | 1,196,200,000 | 728,037,913 | 60,471,049 | 9,013,665,527 |

(2) 歳 出

※ 一般会計の歳出決算状況は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 執行率 |
|-----------------------|-----|----------------|----------------|---------------|-------------|------|
| 年度 | | | | | | |
| | R元 | 17,150,549,000 | 16,148,727,784 | 465,033,000 | 536,788,216 | 94.2 |
| | H30 | 18,547,307,000 | 17,013,226,968 | 1,079,034,000 | 455,046,032 | 91.7 |
| 前 年 度 比 較 | 増 減 | △1,396,758,000 | △864,499,184 | △614,001,000 | 81,742,184 | 2.5 |
| | 比 率 | 92.5 | 94.9 | 43.1 | 118.0 | — |

一般会計歳出決算額は16,148,727,784円で、予算現額17,150,549,000円に対し、執行率は94.2%となり、前年度の17,013,226,968円と比較して864,499,184円(5.1%)減少している。

※ 款別決算額の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 年度 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 前年度比較 | |
|--------------|----------------|---------|----------------|---------|--------------|-------|
| | 決 算 額 | 構 成 比 率 | 決 算 額 | 構 成 比 率 | 増 減 額 | 比 率 |
| 1 議 会 費 | 163,800,026 | 1.0 | 151,771,334 | 0.9 | 12,028,692 | 107.9 |
| 2 総 務 費 | 1,599,081,699 | 9.9 | 1,781,787,456 | 10.5 | △182,705,757 | 89.7 |
| 3 民 生 費 | 6,642,833,632 | 41.1 | 6,424,941,434 | 37.8 | 217,892,198 | 103.4 |
| 4 衛 生 費 | 1,875,660,214 | 11.6 | 1,886,464,453 | 11.1 | △10,804,239 | 99.4 |
| 5 労 働 費 | 624,400 | 0.0 | 619,400 | 0.0 | 5,000 | 100.8 |
| 6 農林水産業費 | 54,408,200 | 0.4 | 132,875,311 | 0.8 | △78,467,111 | 40.9 |
| 7 商 工 費 | 258,898,224 | 1.6 | 208,848,820 | 1.2 | 50,049,404 | 124.0 |
| 8 土 木 費 | 1,319,052,411 | 8.2 | 1,294,391,300 | 7.6 | 24,661,111 | 101.9 |
| 9 消 防 費 | 534,893,442 | 3.3 | 516,518,636 | 3.0 | 18,374,806 | 103.6 |
| 10 教 育 費 | 2,910,890,974 | 18.0 | 3,763,602,729 | 22.1 | △852,711,755 | 77.3 |
| 11 災 害 復 旧 費 | 75,600 | 0.0 | 5,491,901 | 0.0 | △5,416,301 | 1.4 |
| 12 公 債 費 | 788,508,962 | 4.9 | 845,914,194 | 5.0 | △57,405,232 | 93.2 |
| 13 諸 支 出 金 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 14 予 備 費 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| 合 計 | 16,148,727,784 | 100.0 | 17,013,226,968 | 100.0 | △864,499,184 | 94.9 |

※ 性質別決算額の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | | 年度 | | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 前年度比較 | |
|--------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|----------------|--------|-------|--|
| | | 決算額 | 構成比率 | 決算額 | 構成比率 | 増減額 | 比率 | | |
| 義務的経費 | 人件費 | 1,810,138,467 | 11.2 | 1,738,154,362 | 10.2 | 71,984,105 | 104.1 | | |
| | 扶助費 | 4,071,100,332 | 25.2 | 3,723,845,334 | 21.9 | 347,254,998 | 109.3 | | |
| | 公債費 | 726,565,602 | 4.5 | 783,970,834 | 4.6 | △57,405,232 | 92.7 | | |
| | 小計 | 6,607,804,401 | 40.9 | 6,245,970,530 | 36.7 | 361,833,871 | 105.8 | | |
| 投資的経費 | 普通建設事業費 | 1,112,473,974 | 6.9 | 1,189,704,474 | 7.0 | △77,230,500 | 93.5 | | |
| | 補助事業費 | 1,007,624,530 | 6.2 | 2,398,417,721 | 14.1 | △1,390,793,191 | 42.0 | | |
| | 災害復旧事業費 | 75,600 | 0.0 | 5,491,901 | 0.0 | △5,416,301 | 1.4 | | |
| | 小計 | 2,120,174,104 | 13.1 | 3,593,614,096 | 21.1 | △1,473,439,992 | 59.0 | | |
| その他の経費 | 物件費 | 3,168,005,755 | 19.6 | 2,970,857,244 | 17.5 | 197,148,511 | 106.6 | | |
| | 維持補修費 | 172,367,551 | 1.1 | 192,373,340 | 1.1 | △20,005,789 | 89.6 | | |
| | 補助費等 | 2,382,353,785 | 14.8 | 1,772,822,372 | 10.4 | 609,531,413 | 134.4 | | |
| | 積立金 | 76,570,374 | 0.5 | 347,409,146 | 2.1 | △270,838,772 | 22.0 | | |
| | 投資及び出資金 | 381,141,000 | 2.4 | 20,491,000 | 0.1 | 360,650,000 | 1860.0 | | |
| | 貸付金 | 70,000,000 | 0.4 | 70,000,000 | 0.4 | 0 | 100.0 | | |
| | 繰出金 | 1,170,310,814 | 7.2 | 1,799,689,240 | 10.6 | △629,378,426 | 65.0 | | |
| | 小計 | 7,420,749,279 | 46.0 | 7,173,642,342 | 42.2 | 247,106,937 | 103.4 | | |
| 合計 | 16,148,727,784 | 100.0 | 17,013,226,968 | 100.0 | △864,499,184 | 94.9 | | | |

義務的経費は 6,607,804,401円で、前年度と比較して 361,833,871円(5.8%)増加している。

投資的経費は 2,120,174,104円で、前年度と比較して 1,473,439,992円(41.0%)減少している。

その他の経費は 7,420,749,279円で、前年度と比較して 247,106,937円(3.4%)増加している。

款別決算状況

1 款 議会費

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|-------------|-------------|-----------|------|
| R元 | 165,974,000 | 163,800,026 | 2,173,974 | 98.7 |
| H30 | 153,728,000 | 151,771,334 | 1,956,666 | 98.7 |

支出済額は、前年度の 151,771,334円と比較し、12,028,692円(7.9%)増加している。
支出済額の主なものは、人件費を除き委託料 2,468,340円および負担金、補助及び交付金 2,458,363円である。

2 款 総務費

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|---------------|---------------|--------|------------|------|
| R元 | 1,696,590,000 | 1,599,081,699 | 0 | 97,508,301 | 94.3 |
| H30 | 1,861,703,000 | 1,781,787,456 | 0 | 79,915,544 | 95.7 |

支出済額は、前年度の 1,781,787,456円と比較し、182,705,757円(10.3%)減少している。

これは、主に基金費 270,838,772円(78.0%)の減少によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-----------|-------------|--------------|---|
| 市民活動支援費 | 委託料 | 27,679,542円 | (南部ふれあいプラザ指定管理料等) |
| 〃 | 負担金、補助及び交付金 | 85,749,520円 | (市民予算枠事業交付金等) |
| 財産管理費 | 使用料及び賃借料 | 165,952,084円 | (市役所本庁舎借上料等) |
| 企画費 | 委託料 | 32,044,149円 | (ふるさと応援事業支援業務委託料等) |
| 電算管理費 | 委託料 | 104,955,968円 | (総合窓口・総合住民情報システム業務委託料等) |
| 〃 | 使用料及び賃借料 | 42,024,856円 | (電子計算機借上料等) |
| 行政情報化費 | 役務費 | 19,160,663円 | (郵便・電話等) |
| 防犯対策費 | 需用費 | 15,762,175円 | (防犯灯管理需用費等) |
| 市民相談費 | 委託料 | 9,206,140円 | (窓口通訳等業務委託料等) |
| 防災対策費 | 需用費 | 9,757,776円 | (災害用備蓄品等) |
| 賦課徴収費 | 委託料 | 73,302,420円 | (窓口業務委託料、土地評価替基礎調査業務委託料、滞納整理システム構築業務委託料等) |
| 〃 | 償還金、利子及び割引料 | 17,966,838円 | (法人市民税・固定資産税等更正確定に伴う還付金等) |
| 戸籍住民基本台帳費 | 委託料 | 29,044,419円 | (窓口業務委託等) |
| 基金費 | 積立金 | 76,570,374円 | (教育振興・子育て支援基金積立金等) |

などである。

3 款 民生費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 執行率 |
|-----|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| R 元 | 6,836,853,000 | 6,642,833,632 | 982,000 | 193,037,368 | 97.2 |
| H30 | 6,646,487,000 | 6,424,941,434 | 48,906,000 | 172,639,566 | 96.7 |

支出済額は、前年度の 6,424,941,434円と比較し、217,892,198円(3.4%)増加している。

これは主に、社会福祉費 102,636,126円(3.4%)、児童福祉費 80,831,182円(2.6%)の増加によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-------------|--------------|--------------|-----------------------------|
| 地域福祉推進費 | 委託料 | 98,543,267円 | (マシンスタジオ運営委託料等) |
| 〃 | 負担金, 補助及び交付金 | 36,316,029円 | (地域福祉活動事業費補助金等) |
| 障害者在宅・施設介護費 | 委託料 | 42,726,044円 | (障がい者地域生活総合支援業務委託料等) |
| 〃 | 扶助費 | 813,865,423円 | (障害福祉サービス等給付費等) |
| 高齢者在宅・施設介護費 | 負担金, 補助及び交付金 | 60,000,000円 | (養護老人ホーム高浜安立施設整備費補助金) |
| 〃 | 扶助費 | 52,503,216円 | (老人保護措置費等) |
| 介護保険推進費 | 委託料 | 24,992,664円 | (居宅介護用品等給付委託料等) |
| 生活援助費 | 扶助費 | 48,082,480円 | (障害者扶助料、特別障害者手当等) |
| 障害者医療費 | 扶助費 | 107,789,179円 | (障害者医療扶助費等) |
| 子ども医療費 | 扶助費 | 247,725,715円 | (子ども医療扶助費等) |
| 母子家庭等医療費 | 扶助費 | 30,071,494円 | (母子家庭等医療扶助費) |
| 高齢者医療費 | 委託料 | 27,179,491円 | (健康診査委託料等) |
| 〃 | 負担金, 補助及び交付金 | 298,269,795円 | (療養給付費負担金等) |
| 〃 | 扶助費 | 99,814,363円 | (後期高齢者福祉医療扶助費) |
| 国民健康保険事業費 | 繰出金 | 281,602,348円 | (国民健康保険基盤安定繰出金等) |
| 介護保険事業費 | 繰出金 | 438,761,090円 | (介護保険特別会計保険事業勘定繰出金等) |
| 後期高齢者医療事業費 | 繰出金 | 96,896,171円 | (後期高齢者医療保険基盤安定繰出金等) |
| 児童福祉総務費 | 扶助費 | 979,025,000円 | (児童手当) |
| 保育サービス費 | 委託料 | 760,784,029円 | (民間保育所運営委託料等) |
| 〃 | 公有財産購入費 | 86,144,872円 | (土地購入費) |
| 〃 | 負担金, 補助及び交付金 | 266,901,894円 | (民間保育所運営費補助金、認定こども園整備費補助金等) |
| 〃 | 扶助費 | 333,401,942円 | (施設型給付費等) |
| 家庭支援費 | 委託料 | 125,887,741円 | (みどり学園指定管理料、児童クラブ業務委託料等) |
| 〃 | 扶助費 | 214,559,780円 | (児童扶養手当等) |
| 生活援助費 | 扶助費 | 325,551,803円 | (生活保護費等) |

などである。

4 款 衛生費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------------|---------------|------------|-------|
| R 元 | 1,927,833,000 | 1,875,660,214 | 52,172,786 | 97.3 |
| H30 | 1,937,954,000 | 1,886,464,453 | 51,489,547 | 97.3 |

支出済額は、前年度の 1,886,464,453円と比較し、10,804,239円(0.6%)減少している。

これは主に、ごみ処理・リサイクル推進費 89,056,249円(11.3%)の増加に対し、医療対策推進費 118,591,685円(27.7%)の減少によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|---------------------------|----------------------|--------------|--|
| 保 健 ・ 予 防 費 | 需 用 費 | 16,531,438円 | (予 防 接 種 医 薬 材 料 費 等) |
| 〃 | 委 託 料 | 416,753,949円 | (健 康 診 査 ・ 予 防 接 種 委 託 料 等) |
| 〃 | 扶 助 費 | 49,959,626円 | (妊 婦 ・ 乳 児 健 康 診 査 費 等) |
| 医 療 対 策 推 進 費 | 負 担 金, 補 助 及 び 交 付 金 | 296,720,527円 | (病 院 事 業 運 営 費 補 助 金, 移 転 新 築 費 補 助 金 等) |
| 環 境 保 全 推 進 費 | 委 託 料 | 10,881,390円 | (高 浜 エ コ ハ ウ ス 施 設 管 理 業 務 委 託 料 等) |
| ご み 処 理 ・ リ サ イ ク ル 推 進 費 | 需 用 費 | 20,636,769円 | (可 燃 用 指 定 収 集 袋 等) |
| 〃 | 委 託 料 | 238,919,547円 | (ご み 収 集 運 搬 業 務 委 託 料 等) |
| 〃 | 負 担 金, 補 助 及 び 交 付 金 | 604,640,700円 | (衣 浦 衛 生 組 合 分 担 金 [清 掃 関 係 分] 等) |
| 衛 生 費 | 負 担 金, 補 助 及 び 交 付 金 | 41,309,372円 | (衣 浦 衛 生 組 合 分 担 金 [斎 園 関 係 分] 等) |

などである。

5 款 労働費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|-----------|---------|-----------|-------|
| R 元 | 1,633,000 | 624,400 | 1,008,600 | 38.2 |
| H30 | 642,000 | 619,400 | 22,600 | 96.5 |

支出済額は、前年度の 619,400円と比較し、5,000円(0.8%)増加している。

これは、勤労福祉費 11,000円(3.2%)の減少に対し、労働対策推進費 16,000円(5.9%)の増加によるものである。

6 款 農林水産業費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|-------------|-------------|-----------|-------|
| R 元 | 56,740,000 | 54,408,200 | 2,331,800 | 95.9 |
| H30 | 139,862,000 | 132,875,311 | 6,986,689 | 95.0 |

支出済額は、前年度の 132,875,311円と比較し、78,467,111円(59.1%)の減少となっている。

これは主に、農地保全費 73,819,320円(83.0%)の減少によるものである。

7 款 商工費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|-------------|-------------|------------|-------|
| R 元 | 309,968,000 | 258,898,224 | 51,069,776 | 83.5 |
| H30 | 214,290,000 | 208,848,820 | 5,441,180 | 97.5 |

支出済額は、前年度の 208,848,820円と比較し、50,049,404円(24.0%)増加している。

これは主に、商工業振興費 43,146,143円(31.9%)の増加によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-------------------|--------------|-------------|-------------------------|
| 商 工 業 振 興 費 | 委 託 料 | 34,738,495円 | (プレミアム付商品券事業業務委託料等) |
| 〃 | 負担金, 補助及び交付金 | 70,466,770円 | (商工会事業費補助金、企業再投資促進補助金等) |
| 〃 | 貸 付 金 | 70,000,000円 | (小規模企業等振興資金預託金) |
| 観 光 資 源 開 発 費 | 負担金, 補助及び交付金 | 10,460,954円 | (高浜市観光協会活動事業費補助金等) |
| コ ミ ュ ニ テ ィ 交 通 費 | 負担金, 補助及び交付金 | 24,583,600円 | (いきいき号循環事業費補助金等) |

などである。

8 款 土木費

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|---------------|---------------|------------|------------|------|
| R元 | 1,370,912,000 | 1,319,052,411 | 0 | 51,859,589 | 96.2 |
| H30 | 1,377,451,000 | 1,294,391,300 | 13,000,000 | 70,059,700 | 94.0 |

支出済額は、前年度の 1,294,391,300円と比較し、24,661,111円(1.9%)増加している。

これは主に、都市計画費 111,539,873円(13.6%)の増加に対し、住宅費 56,035,074円(79.3%)の減少によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-----------|-------------|--------------|-----------------------|
| 生活道路新設改良費 | 委託料 | 87,657,802円 | (植栽維持管理業務委託料等) |
| 〃 | 工事請負費 | 150,152,806円 | (道水路維持補修工事費、道路改良工事費等) |
| 〃 | 公有財産購入費 | 26,785,892円 | (土地購入費) |
| 下水道費 | 負担金、補助及び交付金 | 366,416,566円 | (下水道事業会計負担金・補助金) |
| 〃 | 投資及び出資金 | 381,141,000円 | (下水道事業会計出資金) |
| 公園緑化費 | 委託料 | 51,438,841円 | (公園等維持管理業務委託料等) |
| 〃 | 工事請負費 | 14,367,960円 | (公園等維持補修工事費等) |

などである。

9 款 消防費

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|-------------|-------------|-----------|------|
| R元 | 535,523,000 | 534,893,442 | 629,558 | 99.9 |
| H30 | 517,615,000 | 516,518,636 | 1,096,364 | 99.8 |

支出済額は、前年度の 516,518,636円と比較し、18,374,806円(3.6%)増加している。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-----|-------------|--------------|----------------|
| 消防費 | 委託料 | 10,868,570円 | (消防団活動委託料等) |
| 〃 | 負担金、補助及び交付金 | 517,533,216円 | (衣浦東部広域連合分担金等) |

などである。

10 款 教育費

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|---------------|---------------|---------------|------------|------|
| R元 | 3,435,095,000 | 2,910,890,974 | 464,051,000 | 60,153,026 | 84.7 |
| H30 | 4,835,716,000 | 3,763,602,729 | 1,017,128,000 | 54,985,271 | 77.8 |

支出済額は、前年度の 3,763,602,729円と比較し、852,711,755円(22.7%)減少している。

これは主に、中学校費 410,558,999円(128.3%)の増加に対し、小学校費 1,457,768,919円(56.4%)の減少によるものである。

支出済額の主なものは、人件費を除き

| | | | |
|-------------|-------------|--------------|----------------------------|
| 教育指導費 | 報償費 | 16,294,007円 | (スクールサポーター謝礼等) |
| 〃 | 委託料 | 20,989,990円 | (外国人英語指導助手派遣委託料等) |
| 〃 | 負担金、補助及び交付金 | 26,058,697円 | (派遣指導主事負担金等) |
| 小学校学校管理費 | 需用費 | 76,721,543円 | (小学校管理需用費) |
| 〃 | 委託料 | 146,674,112円 | (給食調理業務委託料等) |
| 〃 | 使用料及び賃借料 | 44,589,218円 | (教育用PC及びソフトウェア等借上料等) |
| 〃 | 工事請負費 | 698,781,370円 | (高浜小学校東側法面改修工事費等) |
| 〃 | 負担金、補助及び交付金 | 23,679,100円 | (高浜小学校東側法面改修事業付帯工事負担金等) |
| 小学校教育振興費 | 扶助費 | 17,465,532円 | (小学校児童就学援助費等) |
| 小学校学校建設費 | 委託料 | 24,139,731円 | (高浜小学校等維持管理業務委託料) |
| 〃 | 公有財産購入費 | 57,952,720円 | (高浜小学校等整備費(PFI事業)) |
| 中学校学校管理費 | 需用費 | 35,405,206円 | (中学校管理需用費) |
| 〃 | 委託料 | 62,416,085円 | (給食調理業務委託料等) |
| 〃 | 使用料及び賃借料 | 23,667,747円 | (教育用PC及びソフトウェア等借上料等) |
| 〃 | 工事請負費 | 561,564,150円 | (高浜中学校音楽室増築工事費等) |
| 中学校教育振興費 | 扶助費 | 16,578,869円 | (中学校生徒就学援助費等) |
| 幼児教育費 | 扶助費 | 19,989,020円 | (私立幼稚園授業料等軽減給付費) |
| 生涯学習機会提供費 | 委託料 | 100,127,794円 | (図書館指定管理料等) |
| 青少年育成・活動支援費 | 負担金、補助及び交付金 | 163,072,000円 | (勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理費用負担金等) |
| 文化事業費 | 委託料 | 103,953,000円 | (かわら美術館指定管理料) |
| 生涯スポーツ費 | 委託料 | 42,377,311円 | (スポーツ施設指定管理料等) |

などである。

※小学校および中学校管理費には、空調設備整備事業に係る繰越明許費を含む。

1 1 款 災害復旧費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|-----------|-----------|---------|-------|
| R 元 | 89,000 | 75,600 | 13,400 | 84.9 |
| H30 | 6,088,000 | 5,491,901 | 596,099 | 90.2 |

支出済額は、前年度の 5,491,901円と比較し、5,416,301円(98.6%)減少している。

1 2 款 公債費

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|-------------|-------------|---------|-------|
| R 元 | 788,710,000 | 788,508,962 | 201,038 | 100.0 |
| H30 | 846,115,000 | 845,914,194 | 200,806 | 100.0 |

支出済額は、前年度の 845,914,194円と比較し、57,405,232円(6.8%)減少している。これは、元金 50,873,768円(6.5%)、利子 6,531,464円(9.7%)の減少によるものである。

支出済額の内訳は

元 金 償還金, 利子及び割引料 728,037,913円

利 子 償還金, 利子及び割引料 60,471,049円

である。

1 3 款 諸支出金

(単位 円、%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|-------|-------|
| R 元 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0.0 |
| H30 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0.0 |

1 4 款 予備費

(単位 円、%)

| 年度 | 議 決 予 算 額 | 充 用 額 | 不 用 額 | 充 用 率 |
|-----|------------|------------|------------|-------|
| R 元 | 30,000,000 | 5,372,000 | 24,628,000 | 17.9 |
| H30 | 30,000,000 | 20,345,000 | 9,655,000 | 67.8 |

充用額 5,372,000円の内訳は、次のとおりである。

| | |
|--------------|------------|
| 2 款(総務費)へ | 1,186,000円 |
| 3 款(民生費)へ | 1,682,000円 |
| 4 款(衛生費)へ | 500,000円 |
| 6 款(農林水産業費)へ | 57,000円 |
| 7 款(商工費)へ | 263,000円 |
| 8 款(土木費)へ | 160,000円 |
| 10 款(教育費)へ | 1,439,000円 |
| 11 款(災害復旧費)へ | 85,000円 |

3 特別会計

※ 特別会計は、国民健康保険事業はじめ5会計であり、決算状況は次のとおりである。

※ 平成30年度については、公共下水道事業を含めた6会計の決算状況となっている。

公共下水道事業は、平成31年4月1日から地方公営企業法の財務規定を適用し、公営企業会計へ移行した。

(単位 円、%)

| 区分 年度 | | 予算現額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出 差引残額 | 繰入金 |
|-----------------------|----|----------------|----------------|----------------|--------------|---------------|
| R元 | | 6,853,331,000 | 6,805,265,990 | 6,557,790,504 | 247,475,486 | 817,259,609 |
| H30 | | 8,690,276,000 | 8,405,748,191 | 7,867,567,839 | 538,180,352 | 1,436,071,327 |
| 前 年 度 比 較 | 増減 | △1,836,945,000 | △1,600,482,201 | △1,309,777,335 | △290,704,866 | △618,811,718 |
| | 比率 | 78.9 | 81.0 | 83.4 | 46.0 | 56.9 |

特別会計の予算総額は6,853,331,000円となり、決算総額では歳入6,805,265,990円、歳出6,557,790,504円となり、歳入歳出差引残額247,475,486円は翌年度へ繰越されている。

歳入歳出決算額の前年度比較は、歳入で1,600,482,201円(19.0%)減少し、歳出で1,309,777,335円(16.6%)減少している。

一般会計からの繰入金がある会計は、国民健康保険事業、介護保険、後期高齢者医療の3会計である。

繰入総額は817,259,609円となり、前年度1,436,071,327円と比較し、618,811,718円(43.1%)減少している。

※ 特別会計の歳入歳出決算状況は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出 差引残額 | 一般会計から の繰入金 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|----------------|
| 国民健康 保険事業 | 3,360,520,000 | 3,358,784,632 | 3,295,254,633 | 63,529,999 | 281,602,348 |
| 土地取得費 | 50,363,000 | 50,360,565 | 667,208 | 49,693,357 | 0 |
| 公共駐車場 事業 | 95,574,000 | 92,768,732 | 24,804,528 | 67,964,204 | 0 |
| 介護保険 | 2,842,142,000 | 2,801,322,711 | 2,742,774,437 | 58,548,274 | 438,761,090 |
| 後期高齢者 医療 | 504,732,000 | 502,029,350 | 494,289,698 | 7,739,652 | 96,896,171 |
| 合計 | 6,853,331,000 | 6,805,265,990 | 6,557,790,504 | 247,475,486 | 817,259,609 |

(1) 国民健康保険事業特別会計

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|---------------|---------------|---------------|-------------|----------|------|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 3,360,520,000 | 3,358,784,632 | 3,295,254,633 | 63,529,999 | 99.9 | 98.1 |
| H30 | 3,705,636,000 | 3,539,763,144 | 3,433,559,044 | 106,204,100 | 95.5 | 92.7 |

歳入決算額 3,358,784,632円から歳出決算額 3,295,254,633円を差し引いた歳入歳出差引残額 63,529,999円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

予算現額 3,360,520,000円に対して、調定額 3,594,892,727円、収入済額 3,358,784,632円、不納欠損額 42,311,993円、収入未済額 193,796,102円で、収入率は予算現額に対して 99.9%、調定額に対して 93.4%である。

歳入決算額を前年度 3,539,763,144円と比較すると 180,978,512円(5.1%)減少している。

これは主に、国民健康保険税 41,306,569円(4.5%)の減少、繰越金 156,803,158円(59.6%)の減少によるものである。

歳入の主なものは、国民健康保険税 869,013,861円、県支出金 2,069,010,269円で、決算総額の87.5%を占めている。

イ 歳出

予算現額 3,360,520,000円に対して、支出済額 3,295,254,633円、不用額 65,265,367円で執行率は 98.1%である。

歳出決算額を前年度 3,433,559,044円と比較すると 138,304,411円(4.0%)減少している。

これは主に、基金積立金 72,712,814円(46.8%)の減少、諸支出金 61,197,781円(93.0%)の減少によるものである。

歳出の主なものは、保険給付費 2,044,603,656円、国民健康保険事業費納付金 1,060,163,339円で、決算総額の 94.3%を占めている。

次の頁に示すように、国民健康保険税の収納状況をみると、収納額は前年度 910,320,430円と比較し、41,306,569円(4.5%)減少し、調定額に対する収納率は78.6%で、前年度 77.2%より 1.4ポイント上昇している。

※ 最近3か年の国民健康保険税の収納状況の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 年度 | 調定額 | 収納額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|----------|---------------|-------------|------------|-------------|------|
| 令和元年度 | 1,104,958,431 | 869,013,861 | 42,311,993 | 193,632,577 | 78.6 |
| 平成30年度 | 1,178,772,604 | 910,320,430 | 30,964,743 | 237,487,431 | 77.2 |
| 平成29年度 | 1,283,991,625 | 963,994,391 | 28,118,430 | 291,878,804 | 75.1 |

調定額に対する収納額を現年課税分と滞納繰越分に区別し、収納率として前年度と比較すると、現年課税分では、前年度の91.3%に対し、今年度は90.7%で0.6ポイント下降しており、滞納繰越分では前年度の34.1%に対し、今年度は34.2%で0.1ポイント上昇している。

また、収入未済額は前年度の237,487,431円と比較すると43,854,854円(18.5%)の減少となっている。

※ 保険給付費の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 前年度比較 | |
|------|---------|---------------|-------|---------------|-------|------------|-------|
| | | 金額 | 構成比率 | 金額 | 構成比率 | 増減額 | 比率 |
| 療養諸費 | 療養給付費 | 1,771,079,622 | 86.6 | 1,778,983,427 | 87.2 | △7,903,805 | 99.6 |
| | 療養費 | 16,907,254 | 0.8 | 16,456,642 | 0.8 | 450,612 | 102.7 |
| | 審査支払手数料 | 5,679,030 | 0.3 | 5,736,947 | 0.3 | △57,917 | 99.0 |
| | 小計 | 1,793,665,906 | 87.7 | 1,801,177,016 | 88.3 | △7,511,110 | 99.6 |
| | 高額療養費 | 236,893,420 | 11.6 | 221,391,043 | 10.9 | 15,502,377 | 107.0 |
| | 移送費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 出産育児諸費 | 11,394,330 | 0.6 | 13,343,584 | 0.7 | △1,949,254 | 85.4 |
| | 葬祭諸費 | 2,650,000 | 0.1 | 2,700,000 | 0.1 | △50,000 | 98.1 |
| | 合計 | 2,044,603,656 | 100.0 | 2,038,611,643 | 100.0 | 5,992,013 | 100.3 |

決算歳出総額3,295,254,633円の62.1%を占める保険給付費は、上記に示すように前年度2,038,611,643円と比較し5,992,013円(0.3%)の増加となっている。

これは主に、療養給付費7,903,805円(0.4%)の減少に対し、高額療養費15,502,377円(7.0%)の増加によるものである。

(2) 土地取得費特別会計

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|------------|------------|-----------|------------|----------|-----|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 50,363,000 | 50,360,565 | 667,208 | 49,693,357 | 100.0 | 1.3 |
| H30 | 49,815,000 | 49,852,541 | 1,183,513 | 48,669,028 | 100.1 | 2.4 |

歳入決算額 50,360,565円から歳出決算額 667,208円を差し引いた歳入歳出差引残額 49,693,357円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

歳入決算額を前年度の 49,852,541円と比較すると 508,024円(1.0%)増加している。これは主に、財産収入 3,592,437円(68.2%)の減少に対し繰越金 4,105,427円(9.2%)の増加によるものである。

歳入の主なものは、財産収入 1,678,636円および繰越金 48,669,028円である。

イ 歳出

歳出決算額を前年度の 1,183,513円と比較すると 516,305円(43.6%)減少している。これは、土地取得費 516,305円(43.6%)の減少によるものである。

※ 最近3か年の土地の取得及び処分の状況は、次のとおりである。

(単位 m²、%)

| 年度 | 区分 | 取 得 | | | 処 分 | | |
|--------|----|-----|------|----|-----|-------|-----------|
| | | 筆数 | 面積 | 金額 | 筆数 | 面積 | 金額 |
| 令和元年度 | | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 | 0 |
| 平成30年度 | | 0 | 0.00 | 0 | 2 | 93.31 | 3,343,860 |
| 平成29年度 | | 0 | 0.00 | 0 | 0 | 0.00 | 0 |

(3) 公共駐車場事業特別会計

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|------------|------------|------------|------------|----------|------|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 95,574,000 | 92,768,732 | 24,804,528 | 67,964,204 | 97.1 | 26.0 |
| H30 | 87,374,000 | 85,918,043 | 25,192,196 | 60,725,847 | 98.3 | 28.8 |

歳入決算額 92,768,732円から歳出決算額 24,804,528円を差し引いた歳入歳出差引残額 67,964,204円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

歳入決算額を前年度 85,918,043円と比較すると、6,850,689円(8.0%)増加している。これは、主に繰越金 7,359,970円(13.8%)の増加によるものである。

歳入の主なものは、使用料(駐車場使用料) 32,039,780円及び繰越金 60,725,847円である。

イ 歳出

歳出決算額を前年度 25,192,196円と比較すると、387,668円(1.5%)減少している。これは、駐車場費 387,668円(1.5%)の減少によるものである。

歳出の内容は、駐車場管理費 24,804,528円である。

(4) 介護保険特別会計

(1) 保険事業勘定

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|---------------|---------------|---------------|------------|----------|------|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 2,792,705,000 | 2,751,271,842 | 2,696,306,890 | 54,964,952 | 98.5 | 96.5 |
| H30 | 2,669,542,000 | 2,624,909,147 | 2,554,947,244 | 69,961,903 | 98.3 | 95.7 |

歳入決算額 2,751,271,842円から歳出決算額 2,696,306,890円を差し引いた歳入歳出差引残額 54,964,952円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

歳入決算額を前年度 2,624,909,147円と比較すると、126,362,695円(4.8%)増加している。

歳入の主なものは、保険料 649,581,926円、国庫支出金 556,448,015円および支払基金交付金 694,823,175円である。

イ 歳出

歳出決算額を前年度 2,554,947,244円と比較すると、141,359,646円(5.5%)増加している。

歳出の主なものは、保険給付費 2,484,077,995円である。

※ 最近3か年の介護保険料の収納状況の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 年度 | 調定額 | 収納額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|----------|-------------|-------------|-----------|------------|------|
| 令和元年度 | 671,904,583 | 649,581,926 | 7,145,192 | 15,177,465 | 96.7 |
| 平成30年度 | 673,524,260 | 649,845,610 | 7,892,459 | 15,786,191 | 96.5 |
| 平成29年度 | 638,363,155 | 613,944,370 | 7,303,330 | 17,115,455 | 96.2 |

※ 令和元年度収納額には還付未済 336,775円、平成30年度収納額には還付未済 600,625円、平成29年度収納額には還付未済 205,530円を含む。

介護保険料の収納状況をみると、収納額は前年度 649,845,610円と比較し、263,684円(0.04%)減少している。調定額に対する収納率は 96.7%で、前年度の96.5%に対して 0.2ポイント上昇している。

また、収入未済額は前年度の 15,786,191円と比較すると、608,726円(3.9%)の減少となっている。

(2) 介護サービス事業勘定

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|------------|------------|------------|-----------|----------|------|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 49,437,000 | 50,050,869 | 46,467,547 | 3,583,322 | 101.2 | 94.0 |
| H30 | 45,373,000 | 45,025,039 | 43,715,706 | 1,309,333 | 99.2 | 96.3 |

歳入決算額 50,050,869円から歳出決算額 46,467,547円を差し引いた歳入歳出差引残額 3,583,322円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

歳入決算額を前年度 45,025,039円と比較すると、5,025,830円(11.2%)増加している。

歳入の主なものは、使用料及び手数料 8,857,536円および繰入金 39,884,000円である。

イ 歳出

歳出決算額を前年度 43,715,706円と比較すると、2,751,841円(6.3%)増加している。

歳出の主なものは、介護予防支援事業費 46,467,547円である。

(5) 後期高齢者医療特別会計

(単位 円、%)

| 年度 | 予算現額 | 決算額 | | | 予算現額に対する | |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----------|----------|------|
| | | 歳入 | 歳出 | 差引残額 | 収入率 | 執行率 |
| R元 | 504,732,000 | 502,029,350 | 494,289,698 | 7,739,652 | 99.5 | 97.9 |
| H30 | 501,943,000 | 496,965,266 | 488,704,977 | 8,260,289 | 99.0 | 97.4 |

歳入決算額 502,029,350円から歳出決算額 494,289,698円を差し引いた歳入歳出差引残額 7,739,652円を翌年度へ繰越している。

ア 歳入

歳入決算額を前年度 496,965,266円と比較すると、5,064,084円(1.0%)増加している。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料 395,968,600円である。

イ 歳出

歳出決算額を前年度 488,704,977円と比較すると、5,584,721円(1.1%)増加している。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金 463,272,671円である。

※ 最近3か年の後期高齢者医療保険料の収納状況の推移は、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 年度 | 調定額 | 収納額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|----------|-------------|-------------|---------|-----------|------|
| 令和元年度 | 398,500,300 | 395,968,600 | 483,400 | 2,048,300 | 99.4 |
| 平成30年度 | 390,673,800 | 387,200,900 | 699,300 | 2,773,600 | 99.1 |
| 平成29年度 | 393,280,100 | 390,384,400 | 494,100 | 2,401,600 | 99.3 |

※ 令和元年度収納額には還付未済 186,200円、平成30年度収納額には還付未済 694,000円、平成29年度収納額には還付未済 359,700円を含む。

後期高齢者医療保険料の収納状況をみると、収納額は前年度 387,200,900円と比較し、8,767,700円(2.3%)増加している。調定額に対する収納率は 99.4%で前年度の 99.1%に対して 0.3ポイント上昇している。

また、収入未済額は前年度の 2,773,600円と比較すると、725,300円(26.2%)の減少となっている。

4 財産に関する調書

財産に関する調書については、調書記載の財産区分ごとに関係台帳との照合により審査を行った結果、適正に記録管理されているものと認められた。

(1) 公有財産

(ア) 土地

本年度末現在高は 508,948㎡で、前年度 509,442㎡と比較し、494㎡(0.1%)減少している。

増加したものは、次のとおりである。

| | | |
|------|------------------|--------|
| 行政財産 | 公園 | 88㎡ |
| 普通財産 | 湯山町四丁目地内 | 1,365㎡ |
| 〃 | たかとりこども園 | 3,474㎡ |
| 〃 | 中央保育園 | 1,144㎡ |
| 〃 | 勤労青少年ホーム跡地活用事業用地 | 8,728㎡ |

減少したものは、次のとおりである。

| | | |
|------|------------|--------|
| 行政財産 | 公営住宅 | 1,365㎡ |
| 〃 | 保育園 | 5,200㎡ |
| 普通財産 | 勤労青少年ホーム跡地 | 482㎡ |
| 〃 | 南テニスコート跡地 | 8,246㎡ |

(イ) 建物

本年度末現在高は、延面積 109,766㎡で、前年度 116,252㎡と比較し、6,486㎡(5.6%)減少している。

増加したものは、次のとおりである。

| | | |
|------|----------|----|
| 行政財産 | 吉浜駅旅客用便所 | 9㎡ |
|------|----------|----|

減少したものは、次のとおりである。

| | | |
|------|-----------|--------|
| 行政財産 | 学校 | 5,780㎡ |
| 〃 | 保育園 | 697㎡ |
| 〃 | 排水ポンプ保管倉庫 | 18㎡ |

(ウ) 有価証券

本年度は、増減なしにより、本年度末現在高は 4件 75,865,632円である。

(エ) 出資による権利

本年度末現在高は 12件 38,571,000円で、前年度末現在高 14件 39,834,000円と比較し、1,263,000円(3.2%)減少している。

(2) 物 品

本年度は、増加は2点、減少は9点で、本年度末現在高は350点である。

増加したものは、次のとおりである。

真空冷却機1台、投光器1台。

減少したものは、次のとおりである。

貨物自動車1台、食器洗浄器1台、消毒保管庫2台、給湯ボイラー1台、フードスライサー1台、スチームコンベクションオーブン1台、ブラストチラー1台、発動発電機1台。

(3) 債 権

本年度末現在高は741,466,500円で、前年度の724,281,300円と比較し、17,185,200円(2.4%)増加している。

これは、A-1棟都市住宅整備資金貸付金12,342,000円の減少に対して、市民税(特別徴収4・5月分)29,527,200円の増加によるものである。

(4) 基 金

本年度末現在高は、13基金で3,157,897,866円、土地は10,239㎡である。

前年度と比較すると、基金は409,460,958円(11.5%)の減少で、土地は663㎡(6.9%)増加している。

基金別で増加した主なものは

| | | |
|-------------------|-------------|-------|
| 高浜市国民健康保険支払準備基金 | 82,552,081円 | (増加額) |
| 高浜市港湾環境対策基金 | 12,207,398円 | 〃 |
| 高浜市市制施行50周年記念事業基金 | 9,032,691円 | (皆増) |

基金別で減少した主なものは

| | | |
|--------------|--------------|-------|
| 高浜市財政調整基金 | 320,530,161円 | (減少額) |
| 高浜市公共施設等整備基金 | 143,169,178円 | (減少額) |

などである。

む す び

令和元年度の一般会計及び特別会計決算審査について、その概要を記述したが、ここに総括的な意見を付して審査のむすびとする。

一般会計、特別会計を合わせた決算総額は、歳入が 23,888,340,581円で、前年度と比較し 2,370,976,448円(△9.0%)減少し、歳出は 22,706,518,288円で、前年度と比較し 2,174,276,519円(△8.7%)減少している。

一般会計の歳入決算額は 17,083,074,591円、歳出決算額は 16,148,727,784円で、前年度と比較し、歳入で 770,494,247円(△4.3%)減少し、歳出で 864,499,184円(△5.1%)減少しており、差引残高 934,346,807円から翌年度繰越財源充当額 185,035,000円を差し引いた実質収支額は 749,311,807円である。

これを財政構造面からみると、歳入面では市税を中心とした自主財源が 11,303,871,982円、国庫支出金及び市債を中心とした依存財源が 5,779,202,609円で、この結果、自主財源比率は 66.1%となり、前年度より 4.9ポイント上昇している。

一方、歳出面では義務的経費において、公債費は減少したが、扶助費及び人件費が増加したため、全体では前年度に比べ 5.8ポイントの上昇となっている。投資的経費では、単独事業費が大きく減少したため、全体では前年度に比べ 41.0ポイントの低下となっている。その他の経費では、主に積立金及び繰出金が減少したが、投資及び出資金が大きく増加したことにより、全体では前年度に比べ 3.4ポイント上昇している。

次に特別会計においては、公共下水道事業が公営企業会計に移行したことにより、5特別会計の歳入決算額は 6,805,265,990円、歳出決算額は 6,557,790,504円で、前年度と比較し、歳入で 1,600,482,201円(△19.0%)、歳出で 1,309,777,335円(△16.6%)の減少となっている。歳入面における前年度対比では、国民健康保険事業(△5.1%)の1会計で減少し、土地取得費(+1.0%)、公共駐車場事業(+8.0%)、介護保険(+4.9%)及び後期高齢者医療(+1.0%)の4会計で増加している。一方、歳出面では、国民健康保険事業(△4.0%)、土地取得費(△43.6%)、公共駐車場事業(△1.5%)の3会計で減少し、介護保険(+5.5%)、後期高齢者医療(+1.1%)の2会計で増加している。

各会計の執行内容については、それぞれ予算編成の主旨に沿って執行されている。なお、歳入における収入未済額は、一般会計、特別会計を合わせ前年度に比べて 82,710,499円(△16.8%)減少し、不納欠損額は 34,646,152円(+53.6%)増加している。

滞納額の削減は、不納欠損額と直結し、市財政の運営及び税の公平性の確保にとって重要な要素であり、また、市税等の滞納は結果的に多くの善良な納税者の負担となることから、減少はしているが、引続きその削減に努められたい。

内閣府の「日本経済2019-2020」では、2012年11月を景気の谷として、それ以降、緩やかな回復を続けており、2014年度は、消費税率引上げ後の反動減もあってマイナス成長となったものの、その後は、2018年度まで4年間連続でのプラス成長を実現した。他方、2018年に始まった世界経済の減速は、2019年を通じて日本経済の下押し要因となり、また、2019年10月には、消費税率の10%への引上げも実施され、その後の経済動向に十分に注意する必要があるとしている。

本市においては、厳しい財政状況の中、日々目まぐるしく変化する情報や社会のスピードに対し、乗り遅れていくことがないように、将来ビジョンを見据えて改革に取り組むことが肝要であることから、「新しい時代にチャレンジする予算」として、より戦略的な視点を持ち、効率的な事業推進及び経費削減に取り組むこと、改革にチャレンジしていくことを決意し、スタートした年であるが、これまで述べたように、令和元年度決算においても、引続き厳しい財政状況にある。加えて、世界的に新型コロナウイルスの影響により、本市においても、経済収縮が直撃し、経常一般財源の収入確保が期待できない状況にある。

本年は、市制施行50周年の大きな節目となる中、このような厳しい財政状況を認識し、職員一丸となって知恵を絞り、将来にわたる健全財政が維持できるよう努力されることを期待してむすびとする。

令和元年度 基金運用状況審査意見

第1 審査の対象

高浜市土地開発基金

第2 審査の期間

令和2年7月20日から令和2年8月14日まで

第3 審査の方法

地方自治法第241条第5項の規定により審査に付された高浜市土地開発基金の運用状況を示す書類と関係帳簿類を照合調査するとともに、基金の運用状況の当否及び計数の正確性等について審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された基金の運用状況は、いずれも設置目的にそって適正に執行され計数は正確であると認められた。

第5 基金の運用状況

当基金は、公用若しくは公共の用に供する土地又は公共の利益のために必要な土地を先行取得するために設置されたものである。

本年度の運用状況において、

土地の売払については、本年度はない。

土地の取得については、道路用地等7筆 面積662.95㎡、金額51,909,030円で取得している。

※ 土地の運用状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 m²、円、%)

| 区 分 | | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度増減比較 | 前年度対比 |
|-----|-----|------------|------------|------------|-------|
| 売 払 | 面 積 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — |
| | 金 額 | 0 | 0 | 0 | — |
| 取 得 | 面 積 | 662.95 | 452.90 | 210.05 | 146.4 |
| | 金 額 | 51,909,030 | 33,856,700 | 18,052,330 | 153.3 |

土地取得の状況は

道路用地等として 663m² 51,909,030円

以上により、本基金が所有する令和元年度末現在高は

土地 (70筆) 10,239m²

現金 99,754,031円

となっている。

※ 財産の保有状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 m²、円、%)

| 財 産 名 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度増減比較 | 前年度対比 |
|-------|------------|-------------|-------------|-------|
| 土 地 | 10,239 | 9,576 | 663 | 106.9 |
| 現 金 | 99,754,031 | 151,388,405 | △51,634,374 | 65.9 |

現金は 99,754,031円で、前年度 151,388,405円と比較し、51,634,374円の減少である。

令和元年度 決算審査資料

目 次

第1表 一般会計・特別会計歳入歳出総括表 48・49

第2表 一般会計歳出款別節別決算額集計表 50・51

第1表

一 般 会 計
歳 入
特 別 会 計

| 区分 会計別 | | 歳 入 | | |
|------------------|----------|----------------|-------------|----------------|
| | | 総 額 | 他会計より繰入額 | 差引純歳入額 |
| 一 般 会 計 | | 17,083,074,591 | 0 | 17,083,074,591 |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険事業 | 3,358,784,632 | 281,602,348 | 3,077,182,284 |
| | 土地取得費 | 50,360,565 | 0 | 50,360,565 |
| | 公共駐車場事業 | 92,768,732 | 0 | 92,768,732 |
| | 介護保険 | 2,801,322,711 | 438,761,090 | 2,362,561,621 |
| | 後期高齢者医療 | 502,029,350 | 96,896,171 | 405,133,179 |
| | 小 計 | 6,805,265,990 | 817,259,609 | 5,988,006,381 |
| 合 計 | | 23,888,340,581 | 817,259,609 | 23,071,080,972 |

歳 出 総 括 表

(単位 円)

| 歳 出 | | | 差 引 過 不 足 | |
|----------------|-------------|----------------|---------------|---------------|
| 総 額 | 他会計へ繰出額 | 差引純歳出額 | 総 計 額 | 純 計 額 |
| 16,148,727,784 | 817,259,609 | 15,331,468,175 | 934,346,807 | 1,751,606,416 |
| 3,295,254,633 | 0 | 3,295,254,633 | 63,529,999 | △218,072,349 |
| 667,208 | 0 | 667,208 | 49,693,357 | 49,693,357 |
| 24,804,528 | 0 | 24,804,528 | 67,964,204 | 67,964,204 |
| 2,742,774,437 | 0 | 2,742,774,437 | 58,548,274 | △380,212,816 |
| 494,289,698 | 0 | 494,289,698 | 7,739,652 | △89,156,519 |
| 6,557,790,504 | 0 | 6,557,790,504 | 247,475,486 | △569,784,123 |
| 22,706,518,288 | 817,259,609 | 21,889,258,679 | 1,181,822,293 | 1,181,822,293 |

1,181,822,293円を翌年度へ繰越

第2表

一般会計歳出款別節別

| | 1 議会費 | 2 総務費 | 3 民生費 | 4 衛生費 | 5 労働費 | 6 農林水産業費 | 7 商工費 |
|-----------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------|------------|-------------|
| 1 報酬 | 69,919,737 | 8,052,128 | 12,753,169 | 59,000 | 0 | 1,742,400 | 0 |
| 2 給料 | 16,505,220 | 291,242,650 | 185,477,880 | 53,871,884 | 0 | 7,169,700 | 19,012,913 |
| 3 職員手当等 | 35,381,128 | 205,994,198 | 124,036,844 | 35,392,339 | 0 | 5,725,341 | 15,077,934 |
| 4 共済費 | 30,828,943 | 150,772,690 | 99,830,534 | 28,561,739 | 0 | 3,982,869 | 9,911,538 |
| 5 災害補償費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 恩給及退職年金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 賃金 | 1,586,723 | 21,437,114 | 45,115,434 | 9,346,392 | 0 | 1,461,013 | 1,634,473 |
| 8 報償費 | 0 | 3,281,460 | 10,338,169 | 17,365,303 | 0 | 0 | 371,200 |
| 9 旅費 | 1,377,100 | 3,271,360 | 245,200 | 93,120 | 0 | 84,960 | 194,580 |
| 10 交際費 | 152,360 | 519,190 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 需用費 | 1,854,266 | 69,899,457 | 42,800,154 | 39,293,043 | 5,000 | 2,749,138 | 773,406 |
| 12 役務費 | 120,962 | 40,523,408 | 12,185,541 | 3,172,206 | 0 | 82,610 | 904,516 |
| 13 委託料 | 2,468,340 | 315,061,440 | 1,159,551,937 | 680,151,159 | 0 | 8,998,977 | 34,738,495 |
| 14 使用料及び賃借料 | 1,146,884 | 235,637,650 | 33,685,198 | 12,730,896 | 0 | 200,208 | 697,159 |
| 15 工事請負費 | 0 | 3,181,582 | 67,734,806 | 428,760 | 0 | 389,400 | 0 |
| 16 原材料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 49,280 | 0 |
| 17 公有財産購入費 | 0 | 0 | 86,144,872 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18 備品購入費 | 0 | 12,561,666 | 1,568,142 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 19 負担金、補助金及び交付金 | 2,458,363 | 124,177,924 | 689,481,308 | 945,208,347 | 619,400 | 21,759,314 | 105,573,810 |
| 20 扶助費 | 0 | 0 | 3,254,610,035 | 49,959,626 | 0 | 0 | 0 |
| 21 貸付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,000,000 |
| 22 補償、補填及び賠償金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 23 償還金、利子及び割引料 | 0 | 36,702,498 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24 投資及び出資金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 25 積立金 | 0 | 76,570,374 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 26 寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 27 公課費 | 0 | 194,910 | 14,800 | 26,400 | 0 | 12,990 | 8,200 |
| 28 繰出金 | 0 | 0 | 817,259,609 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 163,800,026 | 1,599,081,699 | 6,642,833,632 | 1,875,660,214 | 624,400 | 54,408,200 | 258,898,224 |

決算額集計表

(単位 円)

| 8 土木費 | 9 消防費 | 10 教育費 | 11 災害復旧費 | 12 公債費 | 13 諸支出金 | 14 予備費 | 計 |
|---------------|-------------|---------------|----------|-------------|---------|--------|----------------|
| 46,400 | 0 | 21,444,220 | 0 | 0 | 0 | 0 | 114,017,054 |
| 64,457,108 | 0 | 138,554,489 | 0 | 0 | 0 | 0 | 776,291,844 |
| 45,430,686 | 0 | 89,232,381 | 0 | 0 | 0 | 0 | 556,270,851 |
| 32,085,255 | 0 | 71,099,312 | 0 | 0 | 0 | 0 | 427,072,880 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 498,015 | 0 | 81,832,042 | 0 | 0 | 0 | 0 | 162,911,206 |
| 406,800 | 0 | 23,449,125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55,212,057 |
| 341,530 | 0 | 647,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,254,850 |
| 0 | 0 | 52,080 | 0 | 0 | 0 | 0 | 723,630 |
| 29,794,685 | 4,362,161 | 148,172,701 | 0 | 0 | 0 | 0 | 339,704,011 |
| 1,075,864 | 364,540 | 12,182,469 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,612,116 |
| 169,179,981 | 10,868,570 | 555,836,515 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,936,855,414 |
| 6,908,545 | 639,555 | 81,347,670 | 0 | 0 | 0 | 0 | 372,993,765 |
| 170,414,237 | 0 | 1,301,717,192 | 75,600 | 0 | 0 | 0 | 1,543,941,577 |
| 1,402,159 | 0 | 12,650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,464,089 |
| 28,437,796 | 0 | 57,952,720 | 0 | 0 | 0 | 0 | 172,535,388 |
| 0 | 1,020,800 | 37,754,243 | 0 | 0 | 0 | 0 | 52,904,851 |
| 383,905,510 | 517,533,216 | 235,554,594 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,026,271,786 |
| 0 | 0 | 54,033,421 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,358,603,082 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 70,000,000 |
| 3,395,150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,395,150 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 788,508,962 | 0 | 0 | 825,211,460 |
| 381,141,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 381,141,000 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 76,570,374 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 131,690 | 104,600 | 16,150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 509,740 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 817,259,609 |
| 1,319,052,411 | 534,893,442 | 2,910,890,974 | 75,600 | 788,508,962 | 0 | 0 | 16,148,727,784 |

2 高監第 29 号

令和 2 年 7 月 6 日

高浜市長 吉岡初浩様

高浜市監査委員 伴野義雄

高浜市監査委員 小嶋克文

令和元年度 高浜市水道事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和元年度高浜市水道事業会計決算について決算書及び証拠書類、その他政令で定める書類について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

令和元年度高浜市水道事業会計決算審査意見

| | |
|--------------------|-----|
| 第1 審査の対象..... | 5 5 |
| 第2 審査の期間..... | 5 5 |
| 第3 審査の方法..... | 5 5 |
| 第4 審査の結果..... | 5 5 |
| 水道事業会計..... | 5 6 |
| 1 業務の実績..... | 5 6 |
| 2 予算の執行状況..... | 5 7 |
| 3 経営状況..... | 5 9 |
| 4 財政状態..... | 6 2 |
| む す び..... | 6 5 |
| 水道事業会計決算審査資料 | 6 7 |

令和元年度高浜市水道事業会計 決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度高浜市水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和2年6月8日から令和2年7月6日まで

第3 審査の方法

決算審査にあたっては、市長より提出された決算諸表及び附属書類が地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、その事業の経営成績及び財務状態を適正に表示しているか否かを検証するとともに、公共の福祉の増進と経済性の発揮がどのように図られたかについても考察して審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された本事業の決算諸表及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

本事業の業務の実績、予算の執行状況、経営状況及び財政状態等の概要と意見は次に述べるとおりである。

水 道 事 業 会 計

1 業務の実績

本年度の水道事業は、新規需要に対応するための配水管網等整備工事をはじめ、重要給水施設配水管布設替工事、下水道整備工事に伴う配水管移設工事等における耐震管への布設替え、老朽施設更新事業として、高浜配水場の1号配水ポンプ及び吉浜配水場の3号ポンプ制御盤の更新を実施するなど、老朽施設の適切な更新を図りつつ、飲料水の安定供給に努められた。

※ 本年度の業務実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

水 道 利 用 の 状 況

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 | |
|---------|----|--------------------------|--------------------------|------------------------|--------|
| | | | | 増減 | 対比 |
| 年度末総人口 | | 49,298人 | 48,863人 | 435人 | 100.9% |
| 年度末給水人口 | | 49,283人 | 48,848人 | 435人 | 100.9% |
| 普及率 | | 99.9% | 99.9% | 0% | 100.0% |
| 年度末給水栓数 | | 20,766栓 | 20,408栓 | 358栓 | 101.8% |
| 年間総給水量 | | 5,160,141 m ³ | 5,177,211 m ³ | △17,070 m ³ | 99.7% |
| 年間総有収水量 | | 5,012,255 m ³ | 4,992,355 m ³ | 19,900 m ³ | 100.4% |
| 有収率 | | 97.13% | 96.43% | 0.70% | 100.7% |
| 配水管総延長 | | 223.69 km | 223.73 km | △0.04 km | 100.0% |
| 職員数 | | 8人 | 7人 | 1人 | 114.3% |

ア 給水人口は前年度と比較し、435人（0.9%）の増加となり、総人口に対する普及率は99.9%で前年度と同じである。

イ 給水栓数は前年度と比較し、358栓（1.8%）増加している。

ウ 総給水量は前年度と比較し、17,070 m³（0.3%）減少している。

エ 総有収水量は前年度と比較し、19,900 m³（0.4%）増加している。

オ 有収率は97.13%で、前年度と比較し、0.70ポイント上回っている。

カ 配水管総延長は223.69 kmで前年度と比較し、0.04 km微減している。

キ 職員数は8人で、前年度と比較し1人増加している。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

※ 本年度の予算執行状況は、次のとおりである。

収益的収入

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|--------|-------------|-------------|------------------|-------|
| 水道事業収益 | 892,943,000 | 913,763,478 | 20,820,478 | 102.3 |
| 営業収益 | 827,710,000 | 846,479,210 | 18,769,210 | 102.3 |
| 営業外収益 | 65,233,000 | 67,284,268 | 2,051,268 | 103.1 |

収益的支出

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 不用額 | 執行率 |
|--------|-------------|-------------|------------|------|
| 水道事業費用 | 833,856,000 | 765,257,185 | 68,598,815 | 91.8 |
| 営業費用 | 800,008,000 | 736,916,264 | 63,091,736 | 92.1 |
| 営業外費用 | 30,848,000 | 28,340,921 | 2,507,079 | 91.9 |
| 予 備 費 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 0.0 |

※ 以降における予算額に対する決算額は、消費税を含んだ額である。

ア 収益的収入の決算額は 913,763,478 円で、予算に対し 20,820,478 円の増加で 102.3%の収入率となっている。

収入の主なものは、次のとおりである。

営 業 収 益

給 水 収 益 827,621,257 円 (内仮受消費税及び地方消費税 65,994,926 円)

営 業 外 収 益

受取利息及び配当金 270,434 円

長期前受金戻入 66,931,545 円

イ 収益的支出の決算額は 765,257,185 円で予算に対し 91.8%の執行率となっている。

支出の主なものは、次のとおりである。

営 業 費 用

配水及び給水費 451,578,057 円 (内仮払消費税及び地方消費税 34,470,969 円)

総 係 費 73,215,774 円 (内仮払消費税及び地方消費税 4,006,071 円)

減価償却費 204,393,323 円

営 業 外 費 用

支払利息 12,670,870 円

(2) 資本的収入及び支出

※ 本年度の予算執行状況は、次のとおりである。

資本的収入

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|-------|-------------|-------------|------------------|-------|
| 資本的収入 | 107,817,000 | 125,424,480 | 17,607,480 | 116.3 |
| 企業債 | 20,000,000 | 20,000,000 | 0 | 100.0 |
| 出資金 | 0 | 0 | 0 | — |
| 負担金 | 79,417,000 | 97,024,480 | 17,607,480 | 122.2 |
| 補助金 | 8,400,000 | 8,400,000 | 0 | 100.0 |

資本的支出

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 翌年度繰越額 (税込) | 不用額 | 執行率 |
|--------|-------------|-------------|----------------|------------|-------|
| 資本的支出 | 445,093,000 | 369,917,221 | 0 | 75,175,779 | 83.1 |
| 建設改良費 | 392,535,000 | 317,359,895 | 0 | 75,175,105 | 80.8 |
| 企業債償還金 | 52,558,000 | 52,557,326 | 0 | 674 | 100.0 |

ア 資本的収入

資本的収入の決算額は 125,424,480 円で、予算に対し 116.3%の収入率となっている。

収入の主なものは、次のとおりである。

| | |
|-----|--|
| 企業債 | 20,000,000 円 |
| 負担金 | 97,024,480 円 (内仮受消費税及び地方消費税 3,185,040 円) |
| 補助金 | 8,400,000 円 |

イ 資本的支出

資本的支出の決算額は 369,917,221 円で、予算に対し 83.1%の執行率となっている。
支出の主なものは、次のとおりである。

| | |
|--------|--|
| 建設改良費 | 317,359,895 円 (内仮払消費税及び地方消費税 27,917,580 円) |
| 企業債償還金 | 52,557,326 円 |

ウ 補てん財源

資本的収入額は、資本的支出額に対して 244,492,741 円不足しているが、これは、次の財源で補てんされている。

| | |
|-----------------|---------------|
| 当年度分消費税資本的収支調整額 | 18,617,733 円 |
| 過年度分損益勘定留保資金 | 113,317,682 円 |
| 減債積立金 | 52,557,326 円 |
| 建設改良積立金 | 60,000,000 円 |

3 経営状況

本年度の経営収支の状況は、総収益 847,146,600 円に対し、総費用は 717,402,024 円、差し引き 129,744,576 円の当年度純利益となっている。

※ 最近3か年の経営収支の状況は、次のとおりである。なお、決算額は消費税を含まない金額である。

(単位 円、%)

| 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 平成29年度 | |
|-----------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 金額(税抜) | 前年度対比 | 金額(税抜) | 前年度対比 | 金額(税抜) | 前年度対比 |
| 総収益 | 847,146,600 | 100.4 | 844,102,220 | 101.3 | 832,936,020 | 101.5 |
| 総費用 | 717,402,024 | 96.9 | 740,223,219 | 104.3 | 709,571,669 | 100.0 |
| 純利益(△純損失) | 129,744,576 | — | 103,879,001 | — | 123,364,351 | — |

(1) 事業収益

※ 各区分科目別の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

営業収益及び営業外収益比較表

(単位 円、%)

| 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 比較増減 | 前年度対比 |
|-----------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------|
| | 金額(税抜) | 構成比 | 金額(税抜) | 構成比 | | |
| 営業収益 | 779,822,989 | 92.1 | 774,288,172 | 91.7 | 5,534,817 | 100.7 |
| 給水収益 | 761,626,331 | 89.9 | 758,539,997 | 89.8 | 3,086,334 | 100.4 |
| その他営業収益 | 18,196,658 | 2.2 | 15,748,175 | 1.9 | 2,448,483 | 115.6 |
| 営業外収益 | 67,323,611 | 7.9 | 69,814,048 | 8.3 | △2,490,437 | 96.4 |
| 受取利息及び配当金 | 270,434 | 0.0 | 528,278 | 0.1 | △257,844 | 51.2 |
| 他会計補助金 | 0 | 0.0 | 120,000 | 0.0 | △120,000 | 0.0 |
| 雑収益 | 121,632 | 0.0 | 128,927 | 0.0 | △7,295 | 94.3 |
| 長期前受金戻入 | 66,931,545 | 7.9 | 69,036,843 | 8.2 | △2,105,298 | 97.0 |
| 合計 | 847,146,600 | 100.0 | 844,102,220 | 100.0 | 3,044,380 | 100.4 |

ア 営業収益は 779,822,989 円で総収益の 92.1%を占め、前年度と比較し 5,534,817 円(0.7%)の増加となっている。

これは主に給水収益 3,086,334 円の増加によるものである。

イ 営業外収益は、67,323,611 円で前年度と比較し 2,490,437 円(3.6%)の減少となっている。

これは主に長期前受金戻入 2,105,298 円(3.0%)の減少によるものである。

(2) 事業費用

※ 用途別の事業費用を前年度と比較すると次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 比較増減 | 前年度対比 |
|-------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 金額(税抜) | 構成比 | 金額(税抜) | 構成比 | | |
| 人件費 | 45,690,741 | 6.3 | 49,540,439 | 6.7 | △3,849,698 | 92.2 |
| 修繕費 | 6,057,265 | 0.8 | 9,768,505 | 1.3 | △3,711,240 | 62.0 |
| 動力費 | 14,343,563 | 2.0 | 14,406,426 | 1.9 | △62,863 | 99.6 |
| 受水費 | 336,908,466 | 47.0 | 337,876,686 | 45.6 | △968,220 | 99.7 |
| 有形固定資産減価償却費 | 202,035,523 | 28.2 | 193,662,225 | 26.2 | 8,373,298 | 104.3 |
| 支払利息 | 12,670,870 | 1.8 | 13,718,266 | 1.9 | △1,047,396 | 92.4 |
| その他 | 99,695,596 | 13.9 | 121,250,672 | 16.4 | △21,555,076 | 82.2 |
| 合計 | 717,402,024 | 100.0 | 740,223,219 | 100.0 | △22,821,195 | 96.9 |

ア 比較増減の大きい修繕費、有形固定資産減価償却費、支払利息及びその他についての状況は、次のとおりである。

- ① 修繕費は 6,057,265 円で、前年度と比較し 3,711,240 円 (38.0%) の減少となっている。
- ② 有形固定資産減価償却費は 202,035,523 円で、前年度と比較し、8,373,298 円 (4.3%) の増加となっている。
- ③ 支払利息は 12,670,870 円で、前年度と比較し 1,047,396 円 (7.6%) の減少となっている。
- ④ その他は 99,695,596 円で、前年度と比較し 21,555,076 円 (17.8%) の減少となっている。これは主に委託料、固定資産除却費の減少によるものである。

※ 職員の労働生産性の最近3か年の推移は、次のとおりである。

| 区分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|--------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 職員1人当たりの有収水量 | 626,533 m ³ | 713,194 m ³ | 827,477 m ³ |
| 職員1人当たりの営業収益 | 97,478 千円 | 110,613 千円 | 127,748 千円 |
| 職員1人当たりの給水人口 | 6,160 人 | 6,978 人 | 8,033 人 |
| 損益勘定職員数 | 8 人 | 7 人 | 6 人 |

(3) 供給単価と給水原価

※ 有収水量 1 m³当たりの供給単価と給水原価を前年度と比較すると次のとおりである。

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 比較増減 | 前年度対比 |
|---------|------------|------------|-----------|--------|
| 供給単価 | 151 円 95 銭 | 151 円 94 銭 | 1 銭 | 100.0% |
| 給水原価 | 129 円 78 銭 | 134 円 44 銭 | △4 円 66 銭 | 96.5% |
| 供給利益 | 22 円 17 銭 | 17 円 50 銭 | 4 円 67 銭 | — |

(注) 供給単価 = $\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$ 給水原価 = $\frac{\text{経常費用} - \text{材料売却原価} - \text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}}$

供給単価は 151 円 95 銭で、前年度と比較し 1 銭 (0.0%) 増加している。

給水原価は 129 円 78 銭で、前年度と比較し 4 円 66 銭 (3.5%) 減少している。

この結果、供給単価から給水原価を差引いた額 22 円 17 銭の供給利益を生じている。

(4) 施設の利用状況

※ 施設の利用状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

| 区分 \ 年度 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 比較増減 | 前年度対比 |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|--------|
| 施設能力 (1 日給水能力) | 21,600 m ³ | 21,600 m ³ | 0 m ³ | 100.0% |
| 1 日最大給水量 | 16,062 m ³ | 16,302 m ³ | △240 m ³ | 98.5% |
| 1 日平均給水量 | 14,099 m ³ | 14,184 m ³ | △85 m ³ | 99.4% |
| 施設利用率 | 65.3% | 65.7% | △0.4% | — |
| 最大稼働率 | 74.4% | 75.5% | △1.1% | — |
| 負荷率 | 87.8% | 87.0% | 0.8% | — |

(注) 施設利用率 = $\frac{\text{1 日平均給水量}}{\text{1 日給水能力}} \times 100$

最大稼働率 = $\frac{\text{1 日最大給水量}}{\text{1 日給水能力}} \times 100$

負荷率 = $\frac{\text{1 日平均給水量}}{\text{1 日最大給水量}} \times 100$

ア 施設利用率は 65.3% で、前年度と比較し 0.4 ポイント減少している。

イ 施設利用率は、最大稼働率と負荷率に分解することができる。

最大稼働率は 74.4% で、前年度と比較し 1.1 ポイント減少している。

負荷率は 87.8% で、前年度と比較し 0.8 ポイント増加している。

4 財政状態

(1) 資産及び負債・資本の状況

※ 資産及び負債・資本を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | | 年度 | 令和元年度 (税抜) | 平成30年度 (税抜) | 比較増減 | 前年度 対比 |
|---------|------|----|---------------|----------------|-------------|-----------|
| 資 産 | 固定資産 | | 5,164,145,198 | 5,086,825,316 | 77,319,882 | 101.5 |
| | 流動資産 | | 1,138,019,411 | 1,177,627,577 | △39,608,166 | 96.6 |
| 資産合計 | | | 6,302,164,609 | 6,264,452,893 | 37,711,716 | 100.6 |
| 負 債 | 固定負債 | | 632,884,085 | 668,394,141 | △35,510,056 | 94.7 |
| | 流動負債 | | 226,021,268 | 317,851,967 | △91,830,699 | 71.1 |
| | 繰延収益 | | 1,729,873,421 | 1,694,565,526 | 35,307,895 | 102.1 |
| | 合計 | | 2,588,778,774 | 2,680,811,634 | △92,032,860 | 96.6 |
| 資 本 | 資本金 | | 3,421,854,737 | 3,301,366,839 | 120,487,898 | 103.6 |
| | 剰余金 | | 291,531,098 | 282,274,420 | 9,256,678 | 103.3 |
| | 合計 | | 3,713,385,835 | 3,583,641,259 | 129,744,576 | 103.6 |
| 負債・資本合計 | | | 6,302,164,609 | 6,264,452,893 | 37,711,716 | 100.6 |

ア 資産

資産総額は 6,302,164,609円 で、前年度と比較し 37,711,716円 (0.6%)増加している。

これは、主に固定資産の有形固定資産の構築物 95,935,827円 (2.2%)の増加によるものである。

イ 負債

負債総額は 2,588,778,774円 で、前年度と比較し 92,032,860円 (3.4%)減少している。

これは、主に流動負債の未払金 95,770,700円 (41.4%)の減少によるものである。

ウ 資本

資本総額は 3,713,385,835円 で、前年度と比較し 129,744,576円 (3.6%)増加している。

これは、主に資本金の自己資本金 120,487,898円 (3.6%)の増加によるものである。

(2) 財務比率

※ 事業の健全性、安全性を示す財務比率は、次のとおりである。

(単位 %)

| 区分 \ 年度 | 令和 元年度 | 平成 30年度 | 平成 29年度 | 算式 |
|-----------------|-----------|------------|------------|---|
| 自己資本 構成比率 | 86.4 | 84.3 | 84.2 | $\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ |
| 固定資産対 長期資本比率 | 85.0 | 85.5 | 84.9 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ |
| 流動比率 | 503.5 | 370.5 | 436.7 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ |

ア 自己資本構成比率は、総資本中に占める自己資本の割合を示すもので、この比率が高いほど経営の安定性が高いとされている。

本年度は 86.4%で、前年度より 2.1ポイント上昇している。

イ 固定資産対長期資本比率は、主に資本に対する固定資産の投入割合を示すもので、この比率は低いほど良く、100%以下が望ましいとされている。

本年度は 85.0%で、前年度より 0.5ポイント低下している。

ウ 流動比率は、短期債務の支払能力及び運転資金の状況を示すもので、この比率は、200%以上が望ましいとされているが、地方公営企業では100%を下らなければ良いとされている。

本年度は 503.5%で、前年度より 133.0ポイント上昇している。

(3) 資金の状況について

地方公営企業会計基準の見直しに伴い、平成26年度よりキャッシュ・フロー計算書が義務付けられた。地方公営企業会計の損益計算書、貸借対照表については発生主義に基づき作成されるが、発生主義会計のもとでは、収益・費用を認識する会計期間と現金の収入支出を認識する時期とに差異が生じるため、一会計期間における現金及び預金の増減を明らかにするため、経営における資金の流れを営業活動、投資活動、財務活動の3つに区分し表示するものである。

営業活動によるキャッシュ・フローは営業活動実施に係る資金状態、投資活動によるキャッシュ・フローは将来に向けて行われる設備投資に係る資金状態、財務活動によるキャッシュ・フローは営業活動及び投資活動を行う財務活動に係る資金状態を表している。

令和元年度のキャッシュ・フロー計算書については、次のとおりである。

(単位 円)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減額 |
|----------------------------|---------------|---------------|-------------|
| 1 営業活動によるキャッシュ・フロー | 260,071,337 | 265,011,225 | △4,939,888 |
| 当年度純利益 | 129,744,576 | 103,879,001 | 25,865,575 |
| 減価償却費 | 204,393,323 | 204,515,325 | △122,002 |
| 貸倒引当金の増減(△は減少) | △113,000 | 25,000 | △138,000 |
| 未収金の増減額(△は増額) | △2,005,283 | △3,556,864 | 1,551,581 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △13,222,580 | 15,520,949 | △28,743,529 |
| たな卸資産の増減額(△は増額) | △510,535 | 77,180 | △587,715 |
| 引当金の増減額 | △344,000 | △2,914,700 | 2,570,700 |
| 預り金の増減額 | 1,331,271 | 1,528,671 | △197,400 |
| 長期前受金補助金等戻入額 | △66,931,545 | △69,036,843 | 2,105,298 |
| 固定資産除却費 | 7,729,110 | 14,973,506 | △7,244,396 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | △282,517,983 | △241,746,478 | △40,771,505 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △384,757,423 | △308,281,578 | △76,475,845 |
| 県補助金による収入 | 8,400,000 | 10,300,000 | △1,900,000 |
| 加入負担金による収入 | 35,160,000 | 33,850,000 | 1,310,000 |
| 工事負担金による収入 | 58,679,440 | 22,385,100 | 36,294,340 |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | △32,557,326 | △9,996,898 | △22,560,428 |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入 | 20,000,000 | 20,000,000 | 0 |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △52,557,326 | △50,487,898 | △2,069,428 |
| 短期貸付金による支出 | △47,000,000 | 0 | △47,000,000 |
| 短期貸付金返還による収入 | 47,000,000 | 0 | 47,000,000 |
| 他会計からの出資金による収入 | 0 | 20,491,000 | △20,491,000 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △55,003,972 | 13,267,849 | △68,271,821 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,053,474,270 | 1,040,206,421 | 13,267,849 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 998,470,298 | 1,053,474,270 | △55,003,972 |

※本表は間接法により作成されている。

む す び

令和元年度水道事業会計決算審査の概要は、以上のとおりである。

次に審査意見を述べる。

業務実績の状況は、給水人口が 49,283 人で、前年度と比較し 435 人(+0.9%)増加している。また、総給水量は 5,160,141 m³で、前年度と比較し 17,070 m³ (△0.3%)減少し、総有収水量は 5,012,255 m³で、前年度と比較し 19,900 m³ (+0.4%)増加している。

建設改良事業としては、新規需要に対応するための配水管網整備工事をはじめ、重要給水施設配水管布設替工事、下水道整備工事に伴う配水管移設工事における耐震管への布設替え、老朽施設の更新を図るとして高浜配水場の 1 号配水ポンプ及び吉浜配水場の 3 号ポンプ制御盤の更新を実施するなど、飲料水の安定供給に努められた。

有収率は 97.13%で、前年度より 0.70 ポイント増加し、愛知県内の各市及び水道企業団の平均有収率は 92.74%であり、これと比較しても依然として高い数値を維持している。今後も計画的な漏水対策や管路更新に取り組むことにより有収率の向上を図り、効率的な事業運営に努められたい。

経営状況では、水道事業収益は 847,146,600 円で前年度と比較し 3,044,380 円(+0.4%)増加し、水道事業費用は 717,402,024 円で前年度と比較し 22,821,195 円(△3.1%)減少している。よって、水道事業収益から水道事業費用を差引いた 129,744,576 円が当年度純利益となっている。

収益面においては、前年度と比較し総給水量が 0.3 ポイント減少し、総給水量のうち水道料金収入の基礎となる総有収水量が 0.4 ポイント上昇した。結果として、給水収益は 0.4 ポイント上昇している。

財務状況においては、財務状況の安定性を示す自己資本構成比率は 86.4%で、前年度より 2.1 ポイント上昇している。また、短期債務の支払能力及び運転資金の状況を示す流動比率は 503.5%で、前年度より 133.0 ポイント上昇しており、一般的に 200%以上あることが理想とされていることから、依然として良好な数値を示している。

以上の分析結果から、令和元年度は、給水人口、給水栓数は増加し、有収水量も前年度に比べ若干ではあるが増加し、給水収益も前年度より若干ではあるが増加した。また、水道事業費用の抑制にも努めた結果、収支差引 129,744,576 円の当期純利益を得ることができ、決算状況は良好な状態が保たれていると言える。

本市の水道事業は、昭和 37 年 3 月より給水を開始して以降、宅地開発や工場などの新設が進み、それに伴う給水人口及び給水量に対応すべく、現在は、計画給水人口 52,000 人、計画一日最大給水量 21,600 m³/日として安定供給に努めている。また、令和元年度末時点で普及率は 99.97%に達している。

公営企業を取り巻く経営環境は、今後の急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組みが求められている。本市の水道事業においても、創設時より整備してきた施設の更新時期が近付いていると同時に、大規模地震による甚大な被害が危惧される中で、ライフラインとしての水道を確保する必要に迫られている。近い将来には人口がピークに達し、給水収益も減少傾向に転じることが想定されることから、必要な投資を行うための財源確保が課題

となっている。このような状況の中、総務省からの策定要請を受け、中長期的な経営の取り組みや財政収支の見通しを明らかにした「高浜市水道事業経営戦略」を令和元年9月に策定した。

この経営戦略は、水道事業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画であり、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画（投資試算）と、財源の見通しを試算した計画（財源試算）を構成要素とし、投資以外の経費も含めた上で収入と支出が均衡するよう試算した中長期的な収支計画となっている。

令和元年度末から感染の拡大をみせた新型コロナウイルスの影響により、その対応として「新しい生活様式」が示されるなど、生活環境が大きく変化してきている。今後、こうした生活環境や社会情勢の変化、水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、水道事業経営戦略におけるPDCAサイクルをしっかりとまわして、健全な施設の保持、老朽化した施設および管路の改良・更新のための財源の確保を図りながら、将来にわたって、安定的に事業が継続され、安定して、安心しておいしく飲める水が供給されることを期待してむすびとする。

令和元年度
水道事業会計決算審査資料

目 次

第1表 水道事業比較貸借対照表 68・69

比 較 貸 借

| 借 方 | | | | | | |
|-----------------|----------------------|--------------|----------------------|--------------|-------------------|--------------|
| 区分 科目 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 比較増減 | 前年度 対比 |
| | 金額(税抜) | 構成 比率 | 金額(税抜) | 構成 比率 | | |
| 1 固定資産 | 5,164,145,198 | 81.9 | 5,086,825,316 | 81.2 | 77,319,882 | 101.5 |
| (1) 有形固定資産 | 5,160,134,668 | 81.8 | 5,080,456,986 | 81.1 | 79,677,682 | 101.6 |
| イ 土地 | 42,558,288 | 0.7 | 42,558,288 | 0.7 | 0 | 100.0 |
| ロ 建物 | 26,602,161 | 0.4 | 28,458,152 | 0.5 | △1,855,991 | 93.5 |
| ハ 構築物 | 4,419,320,413 | 70.1 | 4,323,384,586 | 69.0 | 95,935,827 | 102.2 |
| ニ 機械及び装置 | 654,334,006 | 10.3 | 658,521,438 | 10.5 | △4,187,432 | 99.4 |
| ホ 車両及び 運搬具 | 10,376,063 | 0.2 | 13,442,178 | 0.2 | △3,066,115 | 77.2 |
| ヘ 工具器具 及び備品 | 6,523,737 | 0.1 | 8,772,344 | 0.1 | △2,248,607 | 74.4 |
| ト 建設仮勘定 | 420,000 | 0.0 | 5,320,000 | 0.1 | △4,900,000 | 7.9 |
| (2) 無形固定資産 | 4,010,530 | 0.1 | 6,368,330 | 0.1 | △2,357,800 | 63.0 |
| イ 電話加入権 | 54,930 | 0.0 | 54,930 | 0.0 | 0 | 100.0 |
| ロ その他 無形固定資産 | 3,955,600 | 0.1 | 6,313,400 | 0.1 | △2,357,800 | 62.7 |
| (3) 投資 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| イ その他投資 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 2 流動資産 | 1,138,019,411 | 18.1 | 1,177,627,577 | 18.8 | △39,608,166 | 96.6 |
| (1) 現金預金 | 998,470,298 | 15.8 | 1,053,474,270 | 16.8 | △55,003,972 | 94.8 |
| (2) 未収金 | 136,844,499 | 2.2 | 121,959,228 | 1.9 | 14,885,271 | 112.2 |
| (3) 貯蔵品 | 2,704,614 | 0.0 | 2,194,079 | 0.0 | 510,535 | 123.3 |
| (4) 前払金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | | | | | | |
| 資産合計 | 6,302,164,609 | 100.0 | 6,264,452,893 | 100.0 | 37,711,716 | 100.6 |

対 照 表

(単位 円、%)

| 貸 方 | | | | | | |
|----------------|----------------------|--------------|----------------------|--------------|--------------------|--------------|
| 科目 | 令和元年度 | | 平成 30 年度 | | 比較増減 | 前年度 対比 |
| | 金額(税抜) | 構成 比率 | 金額(税抜) | 構成 比率 | | |
| 1 固定負債 | 632,884,085 | 10.0 | 668,394,141 | 10.6 | △35,510,056 | 94.7 |
| (1) 企業債 | 594,681,106 | 9.4 | 629,347,162 | 10.0 | △34,666,056 | 94.5 |
| (2) 引当金 | 38,202,979 | 0.6 | 39,046,979 | 0.6 | △844,000 | 97.8 |
| 2 流動負債 | 226,021,268 | 3.6 | 317,851,967 | 5.1 | △91,830,699 | 71.1 |
| (1) 企業債 | 54,666,056 | 0.9 | 52,557,326 | 0.8 | 2,108,730 | 104.0 |
| (2) 未払金 | 135,727,206 | 2.2 | 231,497,906 | 3.7 | △95,770,700 | 58.6 |
| (3) 預り金 | 31,068,006 | 0.5 | 29,736,735 | 0.5 | 1,331,271 | 104.5 |
| (4) 引当金 | 4,560,000 | 0.1 | 4,060,000 | 0.1 | 500,000 | 112.3 |
| 3 繰延収益 | 1,729,873,421 | 27.4 | 1,694,565,526 | 27.1 | 35,307,895 | 102.1 |
| 負債合計 | 2,588,778,774 | 41.1 | 2,680,811,634 | 42.8 | △92,032,860 | 96.6 |
| | | | | | | |
| 4 資本金 | 3,421,854,737 | 54.3 | 3,301,366,839 | 52.7 | 120,487,898 | 103.6 |
| (1) 自己資本金 | 3,421,854,737 | 54.3 | 3,301,366,839 | 52.7 | 120,487,898 | 103.6 |
| (2) 借入資本金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | - |
| 5 剰余金 | 291,531,098 | 4.6 | 282,274,420 | 4.5 | 9,256,678 | 103.3 |
| (1) 資本剰余金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | - |
| (2) 利益剰余金 | 291,531,098 | 4.6 | 282,274,420 | 4.5 | 9,256,678 | 103.3 |
| イ 減債積立金 | 9,229,196 | 0.1 | 17,907,521 | 0.3 | △8,678,325 | 51.5 |
| ロ 建設改良積立金 | 40,000,000 | 0.6 | 40,000,000 | 0.6 | 0 | 100.0 |
| ハ 当年度未処分利益剰余金 | 242,301,902 | 3.8 | 224,366,899 | 3.6 | 17,935,003 | 108.0 |
| 資本合計 | 3,713,385,835 | 100.0 | 3,583,641,259 | 57.2 | 129,744,576 | 103.6 |
| | | | | | | |
| 負債・資本合計 | 6,302,164,609 | 100.0 | 6,264,452,893 | 100.0 | 37,711,716 | 100.6 |

2 高監第 37 号

令和 2 年 8 月 5 日

高浜市長 吉岡初浩様

高浜市監査委員 伴野義雄

高浜市監査委員 小嶋克文

令和元年度 高浜市下水道事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和元年度高浜市下水道事業会計決算について決算書及び証拠書類、その他政令で定める書類について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

目 次

令和元年度高浜市下水道事業会計決算審査意見

| | |
|---------------------|-----|
| 第1 審査の対象 | 7 3 |
| 第2 審査の期間 | 7 3 |
| 第3 審査の方法 | 7 3 |
| 第4 審査の結果 | 7 3 |
| 下水道事業会計 | 7 4 |
| 1 業務の実績 | 7 4 |
| 2 予算の執行状況 | 7 5 |
| 3 経営状況 | 7 8 |
| 4 財政状態 | 8 0 |
| む す び | 8 3 |
| 下水道事業会計決算審査資料 | 8 5 |

※ 平成31年4月1日より地方公営企業法の財務規定を適用し公営企業会計に移行したため、経年比較の表については、原則令和元年度分のみを記載しています。

令和元年度高浜市下水道事業会計 決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度高浜市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和2年7月8日から令和2年8月5日まで

第3 審査の方法

決算審査にあたっては、市長より提出された決算諸表及び附属書類が地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、その事業の経営成績及び財務状態を適正に表示しているか否かを検証するとともに、公共の福祉の増進と経済性の発揮がどのように図られたかについても考察して審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された本事業の決算諸表及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

本事業の業務の実績、予算の執行状況、経営状況及び財政状態等の概要と意見は次に述べるとおりである。

下水道事業会計

1 業務の実績

本年度の下水道事業は、平成 31 年 4 月 1 日から地方公営企業法の財務規定を適用し、公営企業会計へ移行した。下水道の整備により快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図るため、上畑第 2 処理分区・論地処理分区の管渠布設や、論地町のマンホールポンプ設置などを実施し、供用開始するとともに、令和 2 年度末の供用開始に備えた浜第 2 処理分区の管渠布設を実施するなど、下水道未普及地域の整備に努められた。

※ 本年度の業務実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

下水道利用の状況

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 前年度比較 | |
|-----------|----|--------------------------|--------------------------|-----------------------|---------|
| | | | | 増減 | 対比 |
| 年度末総人口 | | 49,298 人 | 48,863 人 | 435 人 | 100.9 % |
| 処理区域面積 | | 542.0 ha | 523.6 ha | 18.4 ha | 103.5 % |
| 供用開始区域内人口 | | 31,087 人 | 30,458 人 | 629 人 | 102.1 % |
| 下水道普及率 | | 63.1 % | 62.3 % | 0.8 % | — |
| 下水道接続人口 | | 25,331 人 | 24,712 人 | 619 人 | 102.5 % |
| 水洗化率 | | 81.5 % | 81.1 % | 0.4 % | — |
| 年間総処理水量 | | 2,918,131 m ³ | 2,830,836 m ³ | 87,295 m ³ | 103.1 % |
| 有収水量 | | 2,736,496 m ³ | 2,683,741 m ³ | 52,755 m ³ | 102.0 % |
| 有収率 | | 93.8 % | 94.8 % | △1.0 % | — |
| 職員数 | | 7 人 | 7 人 | 0 人 | 100.0 % |

ア 処理区域面積は 542.0ha で、前年度と比較し、18.4ha (3.5%)増加している。

イ 供用開始区域内人口は前年度と比較し、629 人 (2.1%)の増加となり、総人口に対する普及率は 63.1%で前年度より 0.8 ポイント増加している。

ウ 下水道接続人口は前年度と比較し、619 人 (2.5%)増加している。

エ 年間総処理水量は前年度と比較し、87,295 m³ (3.1%)増加している。

オ 有収水量は前年度と比較し、52,755 m³ (2.0%)増加している。

カ 有収率は 93.8%で、前年度と比較し、1.0 ポイント減少している。

キ 職員数は 7 人で、前年度と同数である。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

※ 本年度の予算執行状況は、次のとおりである。

収益的収入

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|---------|-------------|-------------|------------------|-------|
| 下水道事業収益 | 921,440,000 | 926,100,513 | 4,660,513 | 100.5 |
| 営業収益 | 408,733,000 | 414,168,448 | 5,435,448 | 101.3 |
| 営業外収益 | 512,707,000 | 511,412,965 | △1,294,035 | 99.7 |
| 特別利益 | 0 | 519,100 | 519,100 | 皆増 |

収益的支出

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 不用額 | 執行率 |
|--------|-------------|-------------|-----------|-------|
| 下水道事業費 | 878,478,000 | 870,032,209 | 8,445,791 | 99.0 |
| 営業費用 | 739,041,000 | 731,778,292 | 7,262,708 | 99.0 |
| 営業外費用 | 134,222,000 | 134,039,400 | 182,600 | 99.9 |
| 特別損失 | 4,215,000 | 4,214,517 | 483 | 100.0 |
| 予備費 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | 0.0 |

※ 以降における予算額に対する決算額は、消費税を含んだ額である。

ア 収益的収入の決算額は 926,100,513 円で、予算に対し 4,660,513 円の増加で 100.5% の収入率となっている。

収入の主なものは、次のとおりである。

営業収益

下水道使用料 361,838,796 円 (内仮受消費税及び地方消費税 28,848,823 円)

営業外収益

他会計補助金 299,128,000 円

長期前受金戻入 161,990,557 円

イ 収益的支出の決算額は 870,032,209 円で予算に対し 99.0% の執行率となっている。

支出の主なものは、次のとおりである。

営業費用

管渠費 42,572,453 円 (内仮払消費税及び地方消費税 2,866,038 円)

流域下水道維持管理負担金 224,168,636 円 (内仮払消費税及び地方消費税 18,507,615 円)

営業外費用

支払利息及び企業債取引諸費 134,038,272 円

(2) 資本的収入及び支出

※ 本年度の予算執行状況は、次のとおりである。

資本的収入

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|--------------|---------------|---------------|------------------|-------|
| 資本的収入 | 1,027,642,000 | 1,027,757,290 | 115,290 | 100.0 |
| 企業債 | 416,600,000 | 416,600,000 | 0 | 100.0 |
| 他会計出資金 | 381,141,000 | 381,141,000 | 0 | 100.0 |
| 他会計補助金 | 0 | 0 | 0 | — |
| 国庫補助金 | 181,000,000 | 181,000,000 | 0 | 100.0 |
| 県補助金 | 0 | 0 | 0 | — |
| 負担金 | 48,901,000 | 49,016,290 | 115,290 | 100.2 |
| その他資本的収入 | 0 | 0 | 0 | — |

資本的支出

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 翌年度繰越額 (税込) | 不用額 | 執行率 |
|--------------|---------------|---------------|----------------|------------|-------|
| 資本的支出 | 1,291,631,000 | 1,264,394,244 | 0 | 27,236,756 | 97.9 |
| 建設改良費 | 821,605,000 | 794,398,269 | 0 | 27,206,731 | 96.7 |
| 固定資産購入費 | 513,000 | 513,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 企業債償還金 | 469,483,000 | 469,482,975 | 0 | 25 | 100.0 |
| 還付金 | 30,000 | 0 | 0 | 30,000 | 0.0 |

ア 資本的収入

資本的収入の決算額は 1,027,757,290 円で、予算に対し 100.0%の収入率となっている。

収入の主なものは、次のとおりである。

企業債 416,600,000 円

他会計出資金 381,141,000 円

イ 資本的支出

資本的支出の決算額は 1,264,394,244 円で、予算に対し 97.9%の執行率となっている。

支出の主なものは、次のとおりである。

建設改良費 794,398,269 円 (内仮払消費税及び地方消費税 62,991,241 円)

企業債償還金 469,482,975 円

ウ 補てん財源

資本的収入額は、資本的支出額に対して 236,636,954 円不足しているが、これは、次の財源で補てんされている。

| | |
|--------------------|---------------|
| 消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 41,597,784 円 |
| 引 継 金 | 78,947,144 円 |
| 当年度損益勘定留保資金 | 116,092,026 円 |

(3) 特例的収入及び支出

※ 特例的収入及び支出は公営企業会計に移行したことによるものであり、地方公営企業法施行令第4条第4項の規定に基づき、平成30年度以前に発生した債権または債務に係る未収金または未払金を、特例的収入・支出として計上し執行されている。

※ 本年度の予算執行状況は、次のとおりである。

特例的収入

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|-----------|------------|------------|------------------|------|
| 特 例 的 収 入 | 77,138,000 | 74,633,872 | △2,504,128 | 96.8 |

特例的支出

(単位 円、%)

| 区 分 | 予算額(税込) | 決算額(税込) | 予算額に比べ 決算額の増減 | 執行率 |
|-----------|-------------|-------------|------------------|-------|
| 特 例 的 支 出 | 241,242,000 | 241,241,669 | 331 | 100.0 |

ア 特 例 的 収 入

特例的収入の決算額は 74,633,872 円で、予算に対し 96.8%の収入率となっている。

イ 特 例 的 支 出

特例的支出の決算額は 241,241,669 円で、予算に対し 100.0%の執行率となっている。

3 経営状況

本年度の経営収支の状況は、総収益 861,994,266 円に対し、総費用は 848,491,339 円、差し引き 13,502,927 円の当年度純利益となっている。

※ 経営収支の状況は、次のとおりである。なお、決算額は消費税を含まない金額である。

(単位 円、%)

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | | 平成 30 年度 | | 平成 29 年度 | |
|-----------|----|-------------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | | 金額(税抜) | 前年度対比 | 金額(税抜) | 前年度対比 | 金額(税抜) | 前年度対比 |
| 総収益 | | 861,994,266 | — | — | — | — | — |
| 総費用 | | 848,491,339 | — | — | — | — | — |
| 純利益(△純損失) | | 13,502,927 | — | — | — | — | — |

(1) 事業収入

※ 各区分科目別の状況は、次のとおりである。

営業収益及び営業外収益等比較表

(単位 円、%)

| 区分 | 年度 | 令和元年度 | | 平成 30 年度 | | 比較増減 | 前年度対比 |
|---------|----|-------------|-------|----------|-----|------|-------|
| | | 金額(税抜) | 構成比 | 金額(税抜) | 構成比 | | |
| 営業収益 | | 385,319,625 | 44.7 | — | — | — | — |
| 下水道使用料 | | 332,989,973 | 38.6 | — | — | — | — |
| 雨水処理負担金 | | 52,284,652 | 6.1 | — | — | — | — |
| その他営業収益 | | 45,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| 営業外収益 | | 476,155,541 | 55.2 | — | — | — | — |
| 他会計補助金 | | 299,128,000 | 34.7 | — | — | — | — |
| 長期前受金戻入 | | 161,990,557 | 18.8 | — | — | — | — |
| 資本費繰入益 | | 15,003,914 | 1.7 | — | — | — | — |
| 雑収益 | | 33,070 | 0.0 | — | — | — | — |
| 特別利益 | | 519,100 | 0.1 | — | — | — | — |
| その他特別利益 | | 519,100 | 0.1 | — | — | — | — |
| 合計 | | 861,994,266 | 100.0 | — | — | — | — |

ア 営業収益は 385,319,625 円で総収益の 44.7%を占め、収入の主なものは下水道使用料 332,989,973 円である。

イ 営業外収益は 476,155,541 円で、総収益の 55.2%を占め、収入の主なものは他会計補助金 299,128,000 円である。

(2) 事業費用

※ 用途別の事業費用は次のとおりである。

営業費用及び営業外費用等比較表

(単位 円、%)

| 区分 | 令和元年度 | | 平成 30 年度 | | 比較増減 | 前年度 対比 |
|------------------|-------------|-------|----------|-----|------|-----------|
| | 金額(税抜) | 構成比 | 金額(税抜) | 構成比 | | |
| 人件費 | 26,377,029 | 3.1 | — | — | — | — |
| 流域下水道 維持管理負担金 | 205,661,021 | 24.2 | — | — | — | — |
| 減価償却費 | 418,550,528 | 49.3 | — | — | — | — |
| 支払利息 | 134,038,272 | 15.8 | — | — | — | — |
| その他 | 63,864,489 | 7.6 | — | — | — | — |
| 合計 | 848,491,339 | 100.0 | — | — | — | — |

※ 職員の労働生産性は、次のとおりである。

| 区分 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 |
|-------------------------|------------------------|----------|----------|
| 職員 1 人当たりの有収水量 | 684,124 m ³ | — | — |
| 職員 1 人当たりの 供用開始区域内人口 | 7,772 人 | — | — |
| 職員 1 人当たりの営業収益 | 96,330 千円 | — | — |
| 損益勘定職員数 | 4 人 | — | — |

4 財政状態

(1) 資産及び負債・資本の状況

※ 資産及び負債・資本は次のとおりである。

(単位 円、%)

| 区分 | | 年度 | 令和元年度 (税抜) | 平成30年度 (税抜) | 比較増減 | 前年度 対比 |
|---------------|---------|----|----------------|----------------|------|-----------|
| 資 産 | 固 定 資 産 | | 15,224,282,431 | — | — | — |
| | 流 動 資 産 | | 508,900,306 | — | — | — |
| 資 産 合 計 | | | 15,733,182,737 | — | — | — |
| 負 債 | 固 定 負 債 | | 6,917,677,643 | — | — | — |
| | 流 動 負 債 | | 846,965,971 | — | — | — |
| | 繰 延 収 益 | | 5,966,294,018 | — | — | — |
| | 合 計 | | 13,730,937,632 | — | — | — |
| 資 本 | 資 本 金 | | 1,988,742,178 | — | — | — |
| | 剰 余 金 | | 13,502,927 | — | — | — |
| | 合 計 | | 2,002,245,105 | — | — | — |
| 負 債 ・ 資 本 合 計 | | | 15,733,182,737 | — | — | — |

(2) 財務比率

※ 事業の健全性、安全性を示す財務比率は、次のとおりである。

(単位 %)

| 区分 \ 年度 | 令和 元年度 | 平成 30年度 | 平成 29年度 | 算式 |
|-----------------|-----------|------------|------------|---|
| 自己資本 構成比率 | 50.6 | — | — | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ |
| 固定資産対 長期資本比率 | 102.3 | — | — | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ |
| 流動比率 | 60.1 | — | — | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ |

ア 自己資本構成比率は、総資本中に占める資本金等の割合を示すもので、この比率が高いほど財政的安定性が高いとされている。

イ 固定資産対長期資本比率は、固定資産がどのような財源で構成されているかを示すもので、事業の固定的、長期的安全性を見る指標であり、100%以下で小さいほど望ましいとされている。

ウ 流動比率は、短期債務に対する支払能力を示すもので、この比率は100%以上であることが必要であり、数値は高いほど良いとされている。

(3) 資金の状況について

地方公営企業会計基準の見直しに伴い、平成26年度よりキャッシュ・フロー計算書が義務付けられた。地方公営企業会計の損益計算書、貸借対照表については発生主義に基づき作成されるが、発生主義会計のもとでは、収益・費用を認識する会計期間と現金の収入支出を認識する時期とに差異が生じるため、一会計期間における現金及び預金の増減を明らかにするため、経営における資金の流れを業務活動、投資活動、財務活動の3つに区分し表示するものである。

業務活動によるキャッシュ・フローは業務活動実施に係る資金状態、投資活動によるキャッシュ・フローは将来に向けて行われる設備投資に係る資金状態、財務活動によるキャッシュ・フローは業務活動及び投資活動を行う財務活動に係る資金状態を表している。

令和元年度のキャッシュ・フロー計算書については、次のとおりである。

(単位 円)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 増減額 |
|----------------------------|--------------|--------|-----|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | 246,881,522 | — | — |
| 当年度純利益 | 13,502,927 | — | — |
| 減価償却費 | 418,550,528 | — | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 565,016 | — | — |
| 引当金の増減額(△は減少) | 1,992,000 | — | — |
| 長期前受金等戻入額 | △161,990,557 | — | — |
| 資本費繰入収益 | △15,003,914 | — | — |
| 未収金の増減額(△は増額) | △26,434,245 | — | — |
| 未払金の増減額(△は減少) | 14,699,767 | — | — |
| 預り金の増減額(△は減少) | 1,000,000 | — | — |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | △412,129,513 | — | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △636,853,623 | — | — |
| 国庫補助金による収入 | 164,545,455 | — | — |
| 一般会計からの繰入による収入 | 15,003,914 | — | — |
| 負担金による収入 | 45,174,741 | — | — |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | 328,258,025 | — | — |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入 | 416,600,000 | — | — |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △469,482,975 | — | — |
| 一時借入による収入 | 47,000,000 | — | — |
| 一時借入による支出 | △47,000,000 | — | — |
| 他会計からの出資金による収入 | 381,141,000 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 163,010,034 | — | — |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 243,049,852 | — | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 406,059,886 | — | — |

※本表は間接法により作成されている。

む す び

令和元年度下水道事業会計決算審査の概要は、以上のとおりである。

次に審査意見を述べる。

業務実績の状況は、供用開始区域内人口が 31,087 人で、前年度と比較し 629 人(+2.1%)増加し、行政区域内人口 49,298 人に対する普及率は 63.1%、供用開始区域面積は 542.0ha となり、前年度と比較して 18.4ha 増加している。また、年間汚水処理水量は 2,918,131 m³ で、前年度と比較し 87,295 m³ (+3.1%) 増加し、下水道使用料収入の基礎となる有収水量は 2,736,496 m³ で、前年度と比較し 52,755 m³ (+2.0%) 増加している。有収率は、93.8% で、前年度と比較して 1.0% 減少している。

建設改良事業としては、快適な生活環境と公共用水域の水質保全を図るため、上畑第 2 処理分区・論地処理分区において、管渠布設を実施した。また、論地町においてマンホールポンプを 1 か所設置するとともに、衣浦東部流域下水道建設事業費負担金として、愛知県に 46,417,236 円を支払うなど、安全で快適な下水道整備に努められた。

下水道の整備途中である本市にあっては、汚水処理の概成を目指して効率的に普及促進を進めるとともに、現在の下水道機能が維持できるよう適切な維持管理に努められたい。

経営状況では、平成 30 年度の特別会計打切決算に伴い、現金 243,049,852 円、未収・未払となった特例的収入 77,138,000 円、支出 241,242,000 円を引継ぎ、事業収益は、営業収益が 385,319,625 円、営業費用は 709,269,837 円で差引き 323,950,212 円の営業損失となっている。また、営業外収益 476,155,541 円と営業外費用 135,006,985 円を加味すると 17,198,344 円の経常利益となり、特別利益 519,000 円と特別損失 4,214,517 円を含めた最終損益は 13,502,927 円の純利益となっている。

財務状況においては、財務状況の安定性を示す自己資本構成比率は 50.6%、事業の固定的、長期的安全性を示す固定資産対長期資本比率は 102.3%、短期債務に対する支払能力を示す流動比率は 60.1% となっており、整備途中であることから厳しい数値を示している。

以上の分析結果から、令和元年度は、下水道整備により、供用開始区域面積や年間汚水処理水量が増加したが、下水道普及率が 63.1% と整備途中であることから、引続き下水道整備を進め、下水道接続者数の増加に努めるとともに、より一層の経営改善に努める必要があると言える。

本市の下水道事業は、平成 3 年度に事業着手、平成 10 年度に供用開始し、20 年が経過している。公共下水道事業の人口普及率については、行政人口及び処理区域内人口の増加傾向に伴い、45% から 63% まで増加している。整備途中であることから、今後も管渠整備拡大に伴う投資は必要であるとともに、現時点では法定耐用年数を経過した管渠はないが、今後の老朽化に伴い、更新計画を進める必要がある。

公営企業を取り巻く経営環境は、今後の急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など厳しさを増しており、不断の経営健全化の取り組みが求められている。公営企業が将来にわたって住民生活に重要なサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう総務省より、「経営戦略」の策定を要請されている。本市の下水道事業は、この要請を受け、令和元年 9 月に「高浜市下水道事業経営戦略」を策定している。この中で、下水道普及率を踏まえ、今後も整備を進め、下水道接続者数の増加に

努め、安定した収益を確保するとともに、整備拡大に伴う投資及び、将来の管渠の老朽化に伴う更新投資とその財源についてしっかりと把握し、経営の健全化を目指している。今後の生活環境や社会情勢の変化等に対応するため、下水道事業経営戦略におけるP D C Aサイクルをしっかりとまわして、安全で快適な下水道を提供されることを期待してむすびとする。

令和元年度
下水道事業会計決算審査資料

目 次

第1表 下水道事業比較貸借対照表 86・87

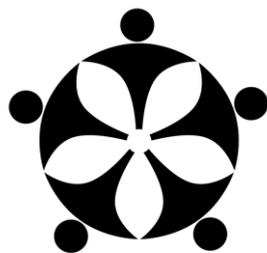
比 較 貸 借

| 借 方 | | | | | | |
|--------------|-----------------------|--------------|--------|------|------|-------|
| 科目 | 令和元年度 | | 平成30年度 | | 比較増減 | 前年度対比 |
| | 金額(税抜) | 構成比率 | 金額(税抜) | 構成比率 | | |
| 1 固定資産 | 15,224,282,431 | 96.8 | — | — | — | — |
| (1) 有形固定資産 | 14,108,367,470 | 89.7 | — | — | — | — |
| イ 構築物 | 14,011,137,255 | 89.1 | — | — | — | — |
| ロ 機械及び装置 | 93,289,336 | 0.6 | — | — | — | — |
| ハ 車両及び運搬具 | 490,820 | 0.0 | — | — | — | — |
| ニ 工具器具及び備品 | 3,450,059 | 0.0 | — | — | — | — |
| (2) 無形固定資産 | 1,115,776,961 | 7.1 | — | — | — | — |
| イ 施設利用権 | 1,115,776,961 | 7.1 | — | — | — | — |
| (3) 投資その他の資産 | 138,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| イ 出資金 | 138,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| 2 流動資産 | 508,900,306 | 3.2 | — | — | — | — |
| (1) 現金・預金 | 406,059,886 | 2.6 | — | — | — | — |
| (2) 未収金 | 102,840,420 | 0.6 | — | — | — | — |
| | | | | | | |
| 資産合計 | 15,733,182,737 | 100.0 | — | — | — | — |

対 照 表

(単位 円、%)

| 貸 方 | | | | | | |
|-------------------|-----------------------|--------------|----------|----------|------|-----------|
| 科目 | 令和元年度 | | 平成 30 年度 | | 比較増減 | 前年度 対比 |
| | 金額(税抜) | 構成 比率 | 金額(税抜) | 構成 比率 | | |
| 1 固定負債 | 6,917,677,643 | 44.0 | — | — | — | — |
| (1) 企業債 | 6,917,677,643 | 44.0 | — | — | — | — |
| 2 流動負債 | 846,965,971 | 5.4 | — | — | — | — |
| (1) 企業債 | 493,004,130 | 3.1 | — | — | — | — |
| (2) 未払金 | 349,190,841 | 2.2 | — | — | — | — |
| (3) 引当金 | 3,771,000 | 0.1 | — | — | — | — |
| イ 賞与引当金 | 3,172,000 | 0.1 | — | — | — | — |
| ロ 法定福利費 引当金 | 599,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| (4) その他 流動負債 | 1,000,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| イ 預り金 | 1,000,000 | 0.0 | — | — | — | — |
| 3 繰延収益 | 5,966,294,018 | 37.9 | — | — | — | — |
| 負債合計 | 13,730,937,632 | 87.3 | — | — | — | — |
| | | | | | | |
| 4 資本金 | 1,988,742,178 | 12.6 | — | — | — | — |
| 5 剰余金 | 13,502,927 | 0.1 | — | — | — | — |
| (1) 利益剰余金 | 13,502,927 | 0.1 | — | — | — | — |
| イ 当年度未処分 利益剰余金 | 13,502,927 | 0.1 | — | — | — | — |
| 資本合計 | 2,002,245,105 | 12.7 | — | — | — | — |
| | | | | | | |
| 負債・資本合計 | 15,733,182,737 | 100.0 | — | — | — | — |



ちよどいいまち
ちよっどいいまち
これまでもこれからも
2020高浜市50th